

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					県岩手希望塾への派遣に係る事務	文化スポーツ課	生涯学習係	佐藤武文
管理No.		0384-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」
2-2-9 青少年の健全育成

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	岩手希望塾参加希望中学生
	受益者	岩手希望塾参加希望中学生
意図	いわて希望塾(県事業)での活動を通じて、将来を担うリーダー人材の育成を行う。	
手段	県からの推薦依頼を受け、町内中学校へ3名の中学生を推薦してもらう。 その後、推薦を取りまとめ県へ推薦。 参加料 3,000(円/人)は町負担。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	C	県から推薦依頼を受けての実施である。実施については、県の判断による。
成果に対する「有効性」	E	コロナによりR3年度は中止になったことから判定は難しい。
事務事業内容の「効率性」	A	特に問題はない。
実施に係る「緊急性」	C	緊急性はないが、、将来を担う青少年の健全育成のため、引き続き実施していく必要があると考える。

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	募集回数	回	1	1			
成果指標	岩手希望塾参加者	人	目標値	3	3	3	3
			実績値	0	2		
		目標値					
		実績値					

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

特になし

課題 (若しくは「問題」等)

県が主体の、青少年育成事業であることから推薦等は現状維持で問題ないと考える。
--

改善改革(案)

特に必要ないと考える。

管理No.	0384-000	名称	県岩手希望塾への派遣に係る事務	予算額 (参考)	12千円	必要人員	0.01/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習				
<p>【県実施目的】 青少年を対象に、体験活動や全県的な交流活動、「復興」についての学びを行うことにより、震災を風化させることなく、積極的に岩手の「復興」や「地域づくり」を担おうとする、心豊かで意欲に満ちた人材を育成することを目的とする。</p> <p>【研修内容】 青少年の家に宿泊し、グループディスカッション、講話、市町村見学などを行う。</p> <p>【矢巾町での募集方法】 矢巾北中学校、矢巾中学校から募集要項を送付。 合計3名を推薦いただき、県の希望塾事業に派遣。</p>													
関係する根拠法令等						特になし		災害時優先度		特に考慮する必要はない		概要説明資料	

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					セカンドアカデミー事業	文化スポーツ課	生涯学習係	花立 政広
管理No.		0385-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-3-10	多様な世代に向けた学習機会の充実

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	医大関係者、セカンドアカデミー参加者
	受益者	セカンドアカデミー参加者
意図	医大の学内において、「地域にお世話になって存在できることを感謝し地域貢献活動を行うこと」を目的として地域貢献推進委員会が設置されており、医大関係者が講座内容や担当教授、講座開設場所等を決定し、町主催で開講している。	
手段	一般教養の教授の講座を町民が受講する。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	D	医大が主導であるが町主催とすることで広報周知がしやすく、幅広い年代から受講者を募ることができ、普段接する機会が少ない専門的で幅広い話題の講座を受講していただくことができる。
成果に対する「有効性」	E	例年、セカンドアカデミー受講者からは多くの支持があり、好評であるが、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施していない。
事務事業内容の「効率性」	A	講座内容や担当教授、講座開設場所等を医大に設定いただき、連携して効率よく事業を実施することができている。
実施に係る「緊急性」	C	急務ではないが、町民の生涯学習の機会拡充のため、今後とも引き続き実施する必要がある。

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	医大との協議	回	1	1				
	募集回数	回	1					
成果指標	受講者数	人	目標値	30	30	30	30	30
			実績値					
	年間講座開講数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値					

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

講座内容によっては、特別講座を開催してほしいという強い要望もある。

課題 (若しくは「問題」等)

忙しい中対応していただいていることから、回数は多くできない。

改善改革(案)

医大側と協議により、参加者側のニーズに応える内容の講座開設に努める。また、1回の講座の時間を長くするなどの工夫も考えられる。
--

管理No.	0385-000	名称	セカンドアカデミー事業	予算額 (参考)		必要人員	0.10/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	-------------	-------------	--	------	----------	-----	--------------

○目的
矢巾町民の生涯学習に対する多様なニーズに対応するため、町に移転した岩手医科大学から講師を招聘して社会一般に関する講座を開設し、個々の教養を高める機会を提供する。

○実施方法
例年は、岩手医大の施設をお借りし、教授等が講師となって町とメニューを決め、年6回程のコースで募集定員30名とし実施。
健康の話や運動等を取り入れたメニューを組み、専門的な話の中でも分かりやすくお話いただいております。リピーターも多く、人気の講座である。

※過去講座内容例

- ・「調べる技を身につけよう:医療・健康情報」
- ・「喪失の理解、悲嘆のケア」
- ・「ヘルシーエイジングのための科学」など

○R3について
R3はコロナの関係で実施について医大と協議を行い中止とした。

関係する根拠法令等	特になし	災害時優先度	特に考慮する必要はない	概要説明資料
-----------	------	--------	-------------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					公民館保守管理・運営事業	文化スポーツ課	生涯学習係	藤島 航
管理No.				0387-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」	
2-3-10	多様な世代に向けた学習機会の充実

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	保守管理業者、公民館利用者、自主事業参加者
	受益者	公民館利用者、自主事業参加者
意図	公民館利用者が安心して安全な環境で学習できるよう公民館施設・設備の適切な管理を行うとともに、町民の教養を高め豊かな生活実現のため、趣味、稽古事、幼児、子ども、家庭のあり方、職業知識、技術向上等の学習、各種講座活動の手伝いについて町民に対し、「学習の場の設定」や「学習機会の提供」を行う。	
手段	施設保守委託。施設修繕・改修工事。 講習会・講演会・実習会等各種講座の開設。	

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	自主事業の開催数 (野外活動講座開催数)	回	8(内1)	7				
	40歳未満を主な対象とした講座開催数	回	1	2				
	修繕箇所数	箇所	7	5				
成果指標	講座参加者数	人	目標値	180	200	220	240	260
		実績値	101	213				
	建物管理についての苦情件数	件	目標値					
		実績値						

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	社会教育法において、公民館の設置及び管理と講座等の開設について定められている。
成果に対する「有効性」	B	コロナ禍により講座の参加者が減少傾向にあるが、講座内容によっては定員を上回る参加がある。
事務事業内容の「効率性」	C	保守管理業務については、契約事務において負担軽減の余地がある。各種講座の開設については、周知広報の方法に事務負担軽減の余地がある。
実施に係る「緊急性」	A	利用者が安心安全に使用できるよう、施設の修繕等をこまめに行う必要がある。

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

特になし

課題 (若しくは「問題」等)

<ul style="list-style-type: none"> 開館から30年以上が経過し様々なところが老朽化し修繕等を要する。 自主事業の参加者や公民館の利用者が固定化している。

改善改革(案)

<ul style="list-style-type: none"> 計画的に修繕やメンテナンスのための予算措置を計画的に要望していく。 普段、公民館を利用しない方が公民館の事業に興味を感じ、参加してもらえるような自主事業の企画を行う。
--

管理No.	0387-000	名称	公民館保守管理・運営事業	予算額 (参考)	26,103千円	必要人員	0.60/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	--------------	-------------	----------	------	----------	-----	--------------

町民が安全・安心して公民館に集える生涯学習環境を整えるため下記のとおり業務を行う。

- ・施設、設備の保守委託
- ・施設、設備修繕(R3年度 5件 295,900円)
- ・施設、設備更新(R3年度 1件 1,262,324円)
- ・公民館貸出業務(R3年度 2,521件 23,525人)

また、町民の学習意欲向上を図るため、多様な学習機会の提供を行うほか、自主的に学習する意欲を育てるため、公民館利用サークルへの支援を行う。

講習会・講演会・実習会等各種講座の開設(スマホ講座、ドイツ語講座、サイエンスショー、パネル展示等)

R3年度 講座開催数 7回 参加者数 213人

関係する根拠法令等	社会教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律	災害時優先度	発災から24時間以内に業務再開が必要	概要説明資料
-----------	---------------------------	--------	--------------------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					出前講座事業	文化スポーツ課	生涯学習係	花立 政広
管理No.		0388-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-3-10	多様な世代に向けた学習機会の充実

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	町職員、参加者
	受益者	参加者、町職員
意図	町政に対し、「知りたい、学びたい」という意思表示をしているグループ等が主催する学習会に町職員を派遣し、町の事務、事業及び制度についての学習機会を提供することにより、町民の町政に対する理解を深めてもらい、生涯学習によるまちづくりを推進することを目的としている。	
手段	希望する講座に対し、町職員を講師として派遣する。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	C	行政が実施する政策・事業等の効果について、町民の声を聴くことで検証する必要があるため。
成果に対する「有効性」	D	希望があれば対応する方法であるため、出前講座の開催数から見て積極的な働きかけに至っていない。また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響も大きい。
事務事業内容の「効率性」	A	各課の担当職員が現地に出向き、講座を行うことから職員に対する負担はあるが、概ね効率的である。
実施に係る「緊急性」	B	町政に対し、「知りたい、学びたい」という意思を示しているグループ等が町政に対する理解を深めることは生活の質の向上にとって必要不可欠であり、継続して実施していくことが必要。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)		
活動指標	講座メニューの設定	件	65	66				
	開催数	回	9	5				
成果指標	参加人数	人	目標値	800	800	800	800	800
		実績値	184	118				
		目標値						
		実績値						

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

参加者からは、受講して良かったとの声が多い。

課題 (若しくは「問題」等)

積極的な周知や働きかけをしても、町民の希望や関心がないと実施することが難しい。
講師を務める職員の負担が大きい。
いつ、どのような希望があるか、事前の把握が難しく、担当者との日程調整に苦慮する。

改善改革(案)

わかりやすく、興味関心をひくようなメニューづくりに努める。
希望する講座がある場合は、早めに申請書を提出していただくよう呼びかける。
職員の負担感軽減のため、各課に照会をかけ、負担感が少なくなるようなメニューづくりに協力いただく。

管理No.	0388-000	名称	出前講座事業	予算額 (参考)		必要人員	0.10/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	--------	-------------	--	------	----------	-----	--------------

○目的
町政に対し、「知りたい、学びたい」という意思表示をしているグループ等が主催する学習会に町職員を派遣し、町の事務、事業及び制度についての学習機会を提供することにより、町民の町政に対する理解を深めてもらい、生涯学習によるまちづくり推進することを目的とする。

○事業内容
・受講対象 町内に在住または在勤するおおむね10人以上で構成されるグループ等
・講座内容 各担当課等が業務をしている、制度や事業66メニュー

※講座内容例
マイナンバーカードについて、選挙制度のはなし、あなたのための国民年金について、よくわかる介護保険制度、SDGsについて、矢巾町の観光、矢巾町の学校教育、徳丹城史跡めぐりツアー、火の用心 など
講座のテーマは多岐にわたる。

・講師 講座を担当する各課職員

・経費 講師料は無料とし、その他会場費、材料費等の必要な経費については、申請者の負担とする。

関係する根拠法令等	矢巾町生涯学習推進本部設置要綱	災害時優先度	特に考慮する必要はない	概要説明資料
-----------	-----------------	--------	-------------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					青少年問題協議会等委嘱事務	文化スポーツ課	生涯学習係	藤島 航
管理No.		0389-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」
2-2-9 青少年の健全育成

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	青少年問題協議会委員
	受益者	青少年
意図	条例に基づき、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な重要事項を調査審議する。また、適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を図る。	
手段	条例に基づき青少年問題協議会や町青少年育成委員等の委嘱を2年に1度行う。また、青少年について、大きな問題が起きた際に協議会を参集して話し合いを行う。	

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	会の招集						
成果指標	会の招集	目標値	適宜	適宜	適宜	適宜	
		実績値	0				
		目標値					
		実績値					

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	青少年問題協議会や町青少年育成委員の委嘱は法律や条例に付する事務である。
成果に対する「有効性」	C	必要の際の会議参集のため、有効性について評価はできない。
事務事業内容の「効率性」	A	効率性について特に問題ないとする。
実施に係る「緊急性」	E	緊急的に行う必要はないが、有事の際に備えるため協議会自体は維持していく必要がある。

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

特になし

課題 (若しくは「問題」等)

基本的には青少年に何か大きな問題があった際に、会を参集をすることとなっているため、近年会の参集がない。

改善改革(案)

協議会の委員は局長、警察署、学校長など多岐にわたり、よほど大きな間が起きた時でなければ参集は難しい。 現状維持で特に問題ないとする。

管理No.	0389-000	名称	青少年問題協議会等委嘱事務	予算額 (参考)	133千円	必要人員	0.01/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	---------------	-------------	-------	------	----------	-----	--------------

条例に基づき青少年問題協議会や町青少年育成委員等の委嘱を2年に1度行う。
 基本的には町の中で青少年問題について何か大きな問題があった際に協議会の委員を参集する。
 近年会の参集はないが、他の会議に合わせて行うなど参集の機会を設ける。

関係する根拠法令等	地方青少年問題協議会法	災害時優先度	特に考慮する必要はない	概要説明資料
-----------	-------------	--------	-------------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					図書センター関係事業	文化スポーツ課	生涯学習係	工藤祐奈
管理No.		0390-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」
2-3-12 図書センターの蔵書充実

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	図書センター利用者及びその家族
	受益者	図書センター利用者及びその家族
意図	町民が図書に広く親しむことで、感受性を高めることを目的とし、幅広い年代の方が利用しやすいよう環境整備を行う。	
手段	図書の選定、調査及び購入	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	社会教育法により、図書や資料等を備え利用を図ることが定められているため。
成果に対する「有効性」	B	令和3年度においては、コロナ禍のため入館者数は減少したものの貸出冊数は増加しており、おおむね目標は達成された。
事務事業内容の「効率性」	B	おおむね効率的であるものの、図書システム管理業務等が指定管理の委託内容に含められないか検討していきたい。
実施に係る「緊急性」	B	現在の蔵書数は最大収納可能数(90,000冊)の約78%に当たり、蔵書数の増加に努める。また、最新のコンテンツを提供する必要もあることから、引き続き図書の収集に努める必要がある。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
活動指標	購入冊数	冊	5,474	2830				
成果指標	貸出人数	人	目標値	32000	33000	34000	35000	36000
			実績値	31577	34806			
	貸出冊数	冊	目標値	170000	180000	190000	200000	210000
			実績値	174071	196347			
	蔵書数	冊	目標値	72500	75000	77500	80000	82500
			実績値	67551	70800			

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

本が少ない。

課題 (若しくは「問題」等)

収納可能冊数に対し、まだ本が不足している。

改善改革(案)

図書の購入のほか、寄附の受け入れについても取り組み、90,000冊を目指し収集に努める。
--

管理No.	0390-000	名称	図書センター関係事業	予算額 (参考)	6,611千円	必要人員	0.20/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	------------	-------------	---------	------	----------	-----	--------------

図書室(図書センター)が矢巾町活動交流センターにH28に移転したことにより、図書貸し出し業務手続きにかかる時間の短縮と利便性が向上した。
 基本図書のほか「交流、教養、子育て」に沿った図書購入をし、幅広い世代の方が利用しやすい環境整備を進める。

○令和3年度

- ・蔵書数 70,800冊
- ・購入冊数 2,830冊
- ・貸出人数 34,806人
- ・貸出冊数 196,347冊

関係する根拠法令等	災害時優先度	概要説明資料
-----------	--------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					国際交流協会補助事業	文化スポーツ課	生涯学習係	洪田 稀結
管理No.		0391-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-7-23	フリモント町等との交流促進

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	矢巾町国際交流協会
	受益者	国際交流に関心のある町民、フリモント町の人々、中高生派遣事業に参加する中高生・家族
意図	矢巾町国際交流協会に対し補助金を交付することにより、町民と外国人とがふれあう場が生まれ、国際感覚豊かな人材育成や国際化社会への興味関心を高めたりすることができ、多文化共生社会に順応した町の魅力創造を目指す。	
手段	矢巾町国際交流協会への補助金の交付	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	C	矢巾町とフリモントは友好都市の盟約を交わしているため、町が補助する必要がある。
成果に対する「有効性」	E	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、友好都市フリモントや町民参加型の交流を制限され、協会は思うように事業を達成することができなかった。
事務事業内容の「効率性」	B	国際交流方法などに関して若干の改善が必要であるが、おおむね効率的である。
実施に係る「緊急性」	C	多文化共生社会で生きていく若者の国際交流への興味関心の向上や友好都市フリモントとの友好な関係を築いていくためには、長期的な視野で事業や交流を継続していく必要がある。

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	国際交流に関する情報発信(会報誌の発行)	回	2	2				
成果指標	補助金交付	千円	目標値	2500	2500	2500	2500	2500
			実績値	144	144			
	人		目標値					
			実績値					

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

世界情勢を考慮しながら友好都市交流を続けてほしい。

課題 (若しくは「問題」等)

世界規模でのテロや感染症等の影響を受けやすく、令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により海外渡航はおろか、町民と外国人とがふれあう場の提供も制限された。長期的な視野で交流を継続していく必要があり、人材を育成するための事業を実施した後も継続的に国際化社会に対応した人材を確保できるような体制整備の構築も必要不可欠と思われる。

改善改革(案)

オンラインでの国際交流や、会報誌だけでなくSNSを活用した情報発信をする。過去派遣者による次世代の人材育成を目指し、過去派遣者に対し定期的なアンケート調査を実施したり、人材育成事業への協力を募る。

管理No.	0391-000	名称	国際交流協会補助事業	予算額 (参考)	144千円	必要人員	1.00/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習	
<p>矢巾町国際交流協会は、矢巾町民の人材育成のため国際交流活動を推進し、国際相互理解を深めるとともに、国際化社会に対応した個性豊かな町の魅力創造に寄与することを目的とする団体で、矢巾町と友好都市を締結しているアメリカ合衆国・ミシガン州・フリモントとの相互交流や、町内または県内在住の外国人と町民とが交流する「ふれあい広場」などの事業を展開している。</p> <p>友好都市であるフリモントとの交流は、平成2年4月から、当時、矢巾町の国際理解事業指導員としてお世話になったローレン・エドワーズ氏の仲介により始まった。非常に熱心な指導者であったローレン氏は、学校の授業だけでは学ぶことのできないことを、直接アメリカの生活の中から学ばせたいという熱意を語っていた。彼の父は当時フリモントミドルスクールの校長を務めており、矢巾町との交流を提案してくれた。それを契機に当町では、令和3年1月に中学生を中心とした交流事業を始め、その翌年からは招へい事業(フリモント町から矢巾町に中高生を派遣する)にも取り組むこととなった。</p> <p>平成6年には、当時のフリモント市長であるレイモンド・ラスバン氏が来朝し、その際に友好都市締結の話が提案された。そして、翌年平成7年7月22日に矢巾町長高橋隆三氏をはじめ町議会議員などがフリモントを訪問し、正式に「友好都市」を締結した。それ以来、6月に招へい、10月に派遣するという相互交流事業が本格的に行われるようになった。</p> <p>また、友好都市締結5周年と10周年には、記念事業として「フリモント親善訪問」を行い、フリモント市内の有名な企業「ガーバー社」の夏フェスティバルに参加し、さんさ踊りを披露している。</p> <p>なお、友好都市フリモントとの中高生招へい・派遣事業は、平成13年ー同時多発テロ、平成21年ー新型インフルエンザ、平成23年ー東日本大震災、令和2年～3年ー新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の一部または全部を中止している。</p> <p>アメリカ合衆国・ミシガン州・ニューウェイゴ郡・フリモントは、人口約4,000人、面積は12.22km²の19世紀に誕生した小さな町。五大湖のひとつであるミシガン州の東に位置しており、飛行機で東京からシカゴ・デトロイト・ミネアポリス島のいずれかを經由してグランドラピッズに到着(ここまでで14時間)。グランドラピッズから北に45マイル(75km)のところの位置している。気候は、夏は涼しく冬はたくさん雪が降る。北海道の旭川くらいと考えるとよい。主要産業は、全米一のベビー食品産業「ガーバーベビーフード社」があり、フリモントを含めたニューウェイゴ郡の4,000人が務めている。また、酪農や農業も盛んにおこなわれており、農業では主な作物として、りんご・さくらんぼ・トマト・ピクルス・スカッシュ・トウモロコシや麦等がある。</p> <p>友好都市フリモントとの中高生招へい・派遣事業の特徴は、参加する生徒が現地でプレゼンテーションを行うというところにある。派遣事業に参加する生徒は、夏休みを利用してフリモントの学校で行うプレゼンテーションの準備をする。テーマ(日本文化を伝えよう等)は各自で考え、日本語・英語の原稿作成とプレゼンテーションの発表練習を行う。事前学習会を数回行うが、各学校の担当教諭並び町立学校のALTIに指導をお願いしている。現地ではすべて英語で授業を行うため、毎回派遣団は練習を重ねてこの事業に参加している。</p>										
関係する根拠法令等						矢巾町国際交流協会会則		災害時優先度		特に考慮する必要はない
概要説明資料										

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					女性教育連絡協議会に係る補助金に関する事務	文化スポーツ課	生涯学習係	佐藤 武文
管理No.				0392-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」	
2-3-10	多様な世代に向けた学習機会の充実

事務事業の方向性
廃止

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	女性教育連絡協議会 会員
	受益者	女性団体が所属する各種団体(例: JA女性部→JAなど)
意図	地域の主要女性団体6団体が互いに連携を図り、女性としての特性を生かして地域活動へ自主的に参画し教養を高めながら、女性の地位向上と会員相互の交流に努めることを目的とする。	
手段	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局による活動支援。 ・補助金による活動支援。 	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	D	男女共同参画社会実現のため、女性同士が集まり学ぶ機会は重要である。ライフステージにあわせ、互いに学びあう場である。
成果に対する「有効性」	C	コロナで実施できなかった事業もあったが、被災地研修や会の在り方懇談会など、制限の中でも事業の実施に努めた。
事務事業内容の「効率性」	C	各団体の会員減少により、6団体の連合を維持するのが難しい。今年度の検討結果について改善改革(案)に記載。
実施に係る「緊急性」	C	緊急性はないが、必要性に基づき実施した。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
活動指標	事業実施回数	回	2					
	補助金の交付	回	1					
成果指標	事業実施回数	回	目標値	3	廃止	廃止	廃止	廃止
			実績値	2	廃止			
	参加団体	団体	目標値	6	廃止	廃止	廃止	廃止
			実績値	6	廃止			
	補助金交付額	千円	目標値	29	廃止	廃止	廃止	廃止
			実績値		廃止			

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

【会の意見】
 各団体とも会員が減少してきており、ただでさえ自分たちの組織を維持していただけても大変である。その上で、連合組織を維持していくことは厳しいのではないかと。

課題 (若しくは「問題」等)

各団体の会員減少により6団体の連合を維持するのは厳しくなった。そこで、11/6に今後の会の在り方について検討を行った。決まった内容に従い右の記載のとおり実施。

改善改革(案)

R2度に会の在り方を検討し、会員の減少や各6団体の衰退から総会にて解散することを決定。解散したことから、会の事務局及び補助はR3度より行わない。なお、解散を検討する中で、町主催の公民館事業で、女性同士の懇談会は今後も続けたほうが良いという意見はでたが、コロナウイルスの影響により実施は未定。

管理No.	0392-000	名称	女性教育連絡協議会に係る補助金に関する事務	予算額 (参考)	29千円	必要人員	0.10/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	-----------------------	-------------	------	------	----------	-----	--------------

【女性教育連絡協議会の目的】
矢巾町内の女性団体相互の連絡協調をはかり、女性生活の向上を期することを目的とする。

【参加団体】
矢巾町連合婦人会、JAいわて中央矢巾地域女性部、交通安全母の会、母子寡婦福祉協会、商工会女性部、更生保護女性の会

【主な事業内容】

- ・女性のつどい
年1回、幹事団体が企画する研修会を開催。
- ・懇談会の開催
町長を招いての懇談会や会同士の間睦を深めるための懇談会を実施。

関係する根拠法令等	矢巾町女性教育連絡協議会規約	災害時優先度	特に考慮する必要はない	概要説明資料
-----------	----------------	--------	-------------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					町連合婦人会活動費補助金に係る事務	文化スポーツ課	生涯学習係	佐藤 武文
管理No.				0393-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」	
2-3-10	多様な世代に向けた学習機会の充実

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	町連合婦人会会員
	受益者	矢巾町地域住民
意図	町内婦人の親睦を図り、婦人に必要な教養を高めるとともに、生活の改善及び青少年の健全育成に努めながら、女性の地位向上を図ることを目的とする。	
手段	・補助金による活動の支援 ・事務局での支援	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	B	婦人会活動を支援することにより、コミュニティの活性化の一助となることから引き続き実施していく必要がある。
成果に対する「有効性」	B	成果指標は概ね達成されている。会員の増加が課題である。
事務事業内容の「効率性」	B	会員数の増加など会を存続する手法を考える必要があるが、会自身の主体性は高いことから、引き続き活動を継続しながら、会の在り方を模索していく必要がある。また、主体性が高いことか
実施に係る「緊急性」	C	婦人会の活動を通じ、将来的にコミュニティを盛り立てていく必要がある。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)		
活動指標	歳末助け合い演芸会の実施							
	研修の実施	1	2					
	補助金の交付回数	1	1					
成果指標	婦人会員数	人	目標値	65	67	69	71	73
		実績値	65	65				
	補助交付金額	千円	目標値	21	21	21	18	18
		実績値		15				
	歳末助け合い演芸会来場者数	人	目標値	400	400	400	400	400
		実績値	なし	なし				

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

【婦人会役員の意見】 ・人口減少により会員が減少していくことは仕方ない。今いる会員で、活動を盛り立てていき、まずは「入ると楽しそう」という雰囲気を知ってほしいというのが大切である。 ・今の連合婦人はやめて、各自治会に女性リーダーをおいて連合するのもいいのかもしれない。
--

改善改革(案)

上記のように会内でも様々な意見が上がっている。会の活動を継続して進めつつ、活動の周知を町ホームページや広報誌等で行い、会員数の増加を目指す。 また、時代の移り変わりに応じた、会の在り方の検討を今後、会議内で進めていく予定。
--

課題 (若しくは「問題」等)

役員の高齢化が進んでおり、会員も年々減少傾向にある。 婦人会に限った話ではないが、若い世代の地域参画が進んでいないのが現状である。
--

管理No.	0393-000	名称	町連合婦人会活動費補助金に係る事務	予算額 (参考)	210千円	必要人員	0.15/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	-------------------	-------------	-------	------	----------	-----	--------------

【町連合婦人会の活動目的】
町内婦人の親睦を図り、婦人に必要な教養を高めるとともに、生活の改善及び青少年の健全育成に努めながら、女性の地位向上を図ることを目的とする。

【参加支部】
7支部(高田2区、煙山、南煙山、下北、桜屋・北郡山グループ、矢巾、新田)

【連合婦人会の主な活動】

- ・歳末助け合い演芸会
チャリティイベントを企画し、収益金を社会福祉協議会に寄付。
- ・女性の絆プロジェクト
東日本大震災を風化させないため、被災地訪問や物産交流、講師を呼んでの研修等を実施。
- ・地域支援
成人式や敬老会等の運営補助。
会員でタオルを集め、保育園や福祉施設に寄付するタオル一本運動の実施。

関係する根拠法令等	矢巾町連合婦人会規約	災害時優先度	特に考慮する必要はない	概要説明資料
-----------	------------	--------	-------------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					矢巾町子ども会育成会連合会事業	文化スポーツ課	生涯学習係	佐藤武文
管理No.		0394-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」
2-2-9 青少年の健全育成

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	子ども会育成会連合会
	受益者	町民(子ども、親、地域)、学校
意図	町内の子ども会育成会の連携のもとに子ども会の自主的な活動を育成指導し、子どもの健全な育成と福祉の増進を図ることを目的とする。	
手段	青少年団体活動費補助金の交付(子ども会育成会連合会)	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	B	町の財産である青少年の健全な育成に必要な「地域での育成力」を高めるため、町が支援する必要がある。
成果に対する「有効性」	B	コロナ禍により、一部中止した事業もあったが子ども達の体験活動の充実につながる事業を会で主体的に実施した。
事務事業内容の「効率性」	B	県子育連との関わりにより業務が増加している部分があるもののおおむね効率的である。
実施に係る「緊急性」	D	緊急性は低いものの、これからの矢巾町を担う世代の健全な育成に努めることは重要である。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)		
活動指標	補助件数	件						
	育成事業開催数	回	3	4				
	育成事業参加者総数	人	72	246				
成果指標	補助金額	円	目標値	18	18	18	18	18
		実績値		18				
	子ども会児童数	人	目標値					
		実績値	1426	1401				
	ジュニアリーダーズクラブ会員数	人	目標値	30	30	30	30	
		実績値	28	28				

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

子どもを育てる上で、取り組み内容は重要である。

課題 (若しくは「問題」等)

地域が子どもを育てるという意識が高まりつつあり、地域に求められる課題も増えていることから、子ども会を支援する団体(指導者協議会等)や地域との連携を強化していくことが課題。 子どもの実情(身体的・精神的)に寄り添った指導が必要であるため、指導者側のスキルアップが課題。
--

改善改革(案)

学校との関わりが重要となることから、取り組み内容を検討していきたい。

管理No.	0394-000	名称	矢巾町子ども会育成会連合会事業	予算額 (参考)	18千円	必要人員	1.00/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	-----------------	-------------	------	------	----------	-----	--------------

○育成会事業
 玉入れ選手権大会、わくわくツアー、わたまるキッズ！歴史探検隊、子ども会リーダー研修会、矢巾町教育振興運動推進委員会との合同研修会、親子創作活動、各種会議

○ジュニアリーダーズクラブ(会員数36名)
 定例会、子ども会育成会への協力

○東北・岩手県子ども会育成会連合会関係
 各種会議・セミナーに参加

関係する根拠法令等	災害時優先度	概要説明資料
-----------	--------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					成人式開催事業	文化スポーツ課	生涯学習係	佐藤 武文
管理No.		0395-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」
2-2-9 青少年の健全育成

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	20歳を迎えた成人者
	受益者	20歳を迎えた成人者
意図	その年の成人者の門出を町として祝い、また成人としての自覚を促すため実施。	
手段	成人式を開催する。 ・成人者の自主性を尊重し、司会等は成人者が実施している。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	国民の祝日に関する法律により成人者に対して、自覚を促す必要があることから。
成果に対する「有効性」	B	コロナ禍であったが、R2、R3両方とも半分以上の出席を達成できた。
事務事業内容の「効率性」	C	ネットの使える若者対象の事業であることから、やり方を工夫すれば費用を抑えことが可能であると考えられる。
実施に係る「緊急性」	A	引き続き町で主体的に実施する必要あり。

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	成人式開催回数	回		2			
成果指標	成人式参加者率	%	目標値	75	75	75	75
			実績値	延期	8分	75	
		目標値					
		実績値					

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

特になし

課題 (若しくは「問題」等)

成人式自体は成人者の新たな門出を祝う式典であることに加え、成人としての自覚を促す、町からでた若者がふるさとである矢巾を振り返るなど、成人教育の観点で重要な役割を担っている。 一方、携帯やインターネットの普及により、記念品として写真の現物支給や案内ハガキを直接送付する方法が非効率的だと考える。

改善改革(案)

式典参加の可否をインターネットを通じて申し込むことができれば、案内送付等にかかる事務負担や経費を軽減することができる。 また、記念品をデータ支給にしたほうが、若者が自由に印刷できる上、経費も削減できる見込みがある。 ただし、出席者のメールアドレスをどのようにして集めるかが課題である。
--

管理No.	0395-000	名称	成人式開催事業	予算額 (参考)	81千円	必要人員	0.15/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	---------	-------------	------	------	----------	-----	--------------

【目的】
20歳になった門出を祝うために、また、成人の自覚を促すために町主催で成人式を開催。

【成人式参加者】
その年の20歳を迎えた成人者。毎年約300人程度

【当日の式典の内容】
国家斉唱、町民憲章唱和、町長による式辞、議長による祝辞、成人代表者による答辞
式典後は記念写真の撮影を実施。
当日の式典は、成人代表者が司会等を行う。

【成人式に係る事務】
出席者・来賓に案内郵送、成人代表者に当日の司会依頼等調整、当日成人式運営など

関係する根拠法令等	国民の祝日に関わる法律	災害時優先度	特に考慮する必要はない	概要説明資料
-----------	-------------	--------	-------------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					青少年指導者協議会支援事業	文化スポーツ課	生涯学習係	花立政広
管理No.		0396-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」
2-2-9 青少年の健全育成

事務事業の方向性
廃止

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	青少年指導者
	受益者	青少年、その保護者等
意図	青少年の健全育成のため活動する団体を支援することにより、町青少年の健全育成に努める。	
手段	活動の支援及び補助金の交付	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	C	青少年の健全育成活動において、色々な体験など指導することから、サポートしながら進めていく必要がある。
成果に対する「有効性」	E	コロナ過により、活動することができなかった。また、会員の減少により思うような活動ができなかった。
事務事業内容の「効率性」	D	外の団体において、同じ様な活動をしていることから、様子をみながら新たな団体の検討なども必要。
実施に係る「緊急性」	E	緊急性はない。

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	指導事業の開催	回						
	補助金交付回数	回	1					
成果指標	事業参加者数	人	目標値	20	廃止	廃止	廃止	廃止
			実績値		廃止			
		目標値						
		実績値						

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

解散してもいいのではないかと意見もあった。

課題 (若しくは「問題」等)

会員の高齢化や新規会員が入ってこない。

改善改革(案)

R2度、会の在り方を検討し、会員の減少により会の維持は困難と判断。解散することを決定した。 解散したことから事務局による支援及び町からの助成も行わない。

管理No.	0396-000	名称	青少年指導者協議会支援事業	予算額 (参考)		必要人員	0.01/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	---------------	-------------	--	------	----------	-----	--------------

青少年指導者協議会の活動を支える。

関係する根拠法令等

災害時優先度

概要説明資料

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					放課後子ども教室事業	文化スポーツ課	生涯学習係	佐藤 武文
管理No.		0397-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」
2-2-9 青少年の健全育成

事務事業の方向性
改善

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	町内児童館児童
	受益者	町内児童館児童、保護者
意図	放課後や長期休業に安心・安全に過ごすことができる居場所を提供するとともに、学習やスポーツ・文化芸術活動を支援。また、子どもたちと地域の講師との交流をとおして、地域コミュニティ活性化の一助を担うことを目的として行う。	
手段	矢町町内の4か所の児童館で放課後子ども教室を実施。子どもの体験活動充実を図る。 放課後子ども教室の講師や安全を見守る安全管理員は、地域の人たちを登用し、子どもと地域の人と交流を図ることで、地域の活性化に繋げる。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	C	体験活動の機会提供は、町の将来を担う子供たちの健全な育成に寄与することから。
成果に対する「有効性」	A	目標値の80%以上の実績値であり、有効性は高い。
事務事業内容の「効率性」	C	従来の児童館事業に+αとして実施。児童館、学校との連携の仕方によって、更に効率化を図れる可能性がある。
実施に係る「緊急性」	C	将来を担う子供たちの育成のため、緊急性はないが実施していく必要あり。

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	放課後子ども教室開催	回	20	20				
成果指標	学校区設置数	個	目標値	3	4	4	4	4
			実績値	3	4			
	安全管理員 協力人数	人	目標値	4	6	8	10	10
			実績値	5	9			
	放課後子ども教室参加人数(のべ人数)	人	目標値	800	800	800	800	800
			実績値	789	655			

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

参加者からは、体を動かすメニューが好評だった。

課題 (若しくは「問題」等)

R3からは4児童館での実施を予定しており、4か所計20回を考えている。総事業費は現段階で約200千円を想定しており、うち県及び国から2/3が補助される予定である。 補助を受けることから実施方法や報告について、細かい制約が課せられており、事業進めるうえで負担が大きい。
--

改善改革(案)

この規模での事業であれば、町単費で実施したほうがよいと考える。(従来の児童館事業に+αの事業であることから財政の事情によっては、事業自体の廃止も考えられる。) 事業自体はこれ以上の規模拡大は難しいが、子どもたちの体験活動の充実は、その後成長に寄与できると考える。
--

管理No.	0397-000	名称	放課後子ども教室事業	予算額 (参考)	869千円	必要人員	0.25/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習	
<p>○事業の目的 体験活動の充実は、将来を子どもたちの育成のため町内の子どもたちの居場所づくりのため、放課後子ども教室事業を実施する。</p> <p>○教室実施の概要 各小学校区の児童館を中心に放課後子ども教室を実施。すべての教室併せて20回程度を目安に実施する。 教室内容は、スポーツ、文化・芸術体験活動とし、講師は県内の企業や地域住民の方を中心に依頼する。 教室中の安全を見守る安全管理員も地域の方に依頼する。</p> <p>○評価について 事業に参加する児童へアンケートを実施し、その回答により満足度を割り出す。 また、関係者や事業に参加いただいたボランティアなどから意見を聴取する。</p>										
関係する根拠法令等						特になし		災害時優先度		特に考慮する必要はない
概要説明資料										

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					教育振興運動推進事業	文化スポーツ課	生涯学習係	佐藤 武文
管理No.		0398-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-2-9	青少年の健全育成

事務事業の方向性
改善

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	5者(子ども・親・教師・地域・行政)
	受益者	5者(子ども・親・教師・地域・行政)
意図	町教育基本目標である「自分を人としてふるさと矢巾を愛し大切にする人づくり」を目指し、本町の教育実績を踏まえ、町民のニーズや社会情勢の変化を捉えながら、町教育振興運動の推進を進める。	
手段	教育振興運動推進事業の委託(委託先:教育振興運動推進委員会) ・教育振興運動推進に関わる研修会の開催をする。 ・子ども会活動の支援(あいさつ、ふれあい運動の推進)をする。 家庭教育ふれあい推進事業を実施する。(幼児教育)	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	B	基礎的な教育の支援や提供を行う事業であると考える。
成果に対する「有効性」	A	成果指標はクリアされている。町委託金については、過去の決算書を基にR4から減額する報告。
事務事業内容の「効率性」	C	CSが入ってきたことにより、57年続いてきた教育振興運動との兼ね合いやあり方が問われている。また、体制維持のため、町職員や学校の副校長の事務負担が大きく、改善の余地あり。
実施に係る「緊急性」	C	緊急性はないが、将来を担う子供たちのため効率性を考えながらも実施はしていく必要がある。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)		
活動指標	研修の開催	回	1	1				
成果指標	活動実践区	区	目標値	42	42	42	42	42
			実績値	42	42			
	合同研修会の参加人数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	70	82			
	町委託金(令和3年度から負担金)	千円	目標値	1456	1456	1456	1456	1456
			実績値	990	1304			

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

教育振興運動の活動の目的がわからない。

課題 (若しくは「問題」等)

CSの導入により従来の教育振興運動の在り方に問題が出てきている。 ※CSと教振の連携がうまく図れていないのが現状。地域に根差した教育活動の推進という目的自体は同じであることから、CSと併せてどのように検討を進める必要がある。

改善改革(案)

従来の教育振興運動の組織体系を見直す必要があると考える。 ただし、教育振興運動は総合計画にも記載があること、約50年県全体で続いている運動であることから、いきなり大幅に変更するのではなく、関係する有識者等と検討を重ねながら緩やかに改革していく必要がある。
--

管理No.	0398-000	名称	教育振興運動推進事業	予算額 (参考)	1,456千円	必要人員	0.30/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	------------	-------------	---------	------	----------	-----	--------------

○目的

家庭、学校、地域、行政の5者が互いに役割と責任を果たしながら、「学力向上・健全育成・健康安全・体力向上」を柱に「復興教育」「全県共通課題」などの課題に弾力的に取り組み、生きる力を育む運動の推進を図る。

本町では、矢巾町教育振興運動推進委員会を中心に各振興区及び実践区で、教育振興運動を展開。

○矢巾町の共通の運動

・あいさつ運動 ・ふれあい運動

○活動内容(例)

・各学校や地域等でのぼり旗やスローガンを作成し、あいさつ運動を実施。

・各保育園と地域の老人施設が連携し、世代間交流を実施。

・学校と家庭が連携し、メディアダイエットを実施。

※「全県共通課題」の中に、「情報メディアとの上手な付き合い方」の取組という内容があることから。

関係する根拠法令等 矢巾町教育振興運動推進委員会規約

災害時優先度 特に考慮する必要はない

概要説明資料

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					文化会館運営事業	文化スポーツ課	生涯学習係	花立 政広
管理No.		0399-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-5-17	芸術・文化活動の推進の充実

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	指定管理者
	受益者	町民、維持管理に係る業者、指定管理者
意図	町民の芸術文化の振興を図り、教養を高め、もって福祉の増進に寄与するため、振興拠点となる矢巾町文化会館の維持管理に努める。	
手段	専門性の指定管理者にホール運営を委託することで、より円滑なホール運営を行う。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	法律や条例で施設整備について努力義務付けされている。
成果に対する「有効性」	B	自主事業は指定管理者に限られた予算の中で多様な企画の提供に努めており、令和3年度は13回の企画を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、10回開催することが指定管理者の専門的な知識を活かした事業展開により、ホール利用者は安心して利用することができている。
事務事業内容の「効率性」	A	町の文化振興担う拠点であり、引き続き管理運営の必要あり。
実施に係る「緊急性」	A	

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	業務委託料(指定管理料)	千円	50,148	52,797				
	自主事業実施数	回	3	10				
成果指標	田園ホール利用者数	人	目標値	13000	20000	30000	40000	50000
			実績値	13544	22643			
	田園ホール自主事業年間入場者数	人	目標値	4500	4600	4700	4750	4800
			実績値	473	2184			
	田園ホール稼働率	%	目標値	50	55	60	65	70
			実績値	54.3	68.7			

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

毎年、工夫をこらしたイベントを実施している。

課題 (若しくは「問題」等)

町内に在住していても、田園ホールに一度も来館したことがない方への呼びかけが難しい。
話題性のある自主事業を継続的に企画していくための予算確保が難しい。

改善改革(案)

他館との調整による共同招致・補助事業導入を検討する。
予算の範囲内において、偏りのない広範なジャンルの催事企画を促す。
田園室内合奏団、田園ホール混声合唱団、町民劇場への会場提供等の支援を充実させる。

管理No.	0399-000	名称	文化会館運営事業	予算額 (参考)	50,148千円	必要人員	0.20/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
<p>○目的 町民の芸術文化の振興を図り、教養を高め、もって福祉の増進に寄与するため、振興拠点となる矢巾町文化会館の維持管理に努める。 ホールの運営事業は指定管理者に委託。</p> <p>○管理・運営に係る業務 管理: 使用の許可、利用料金の徴収等に関する業務 施設設備の維持管理に関する業務 その他施設の管理に必要と認められる業務 保険の加入 運営: 施設の利用促進に関する業務</p> <p>○評価・検証 文化会館の事業効果を高めるため、文化会館の運営委員会にて、実施事業の内容、成果を検証の実施を行っている。</p>									
関係する根拠法令等						災害時優先度		特に考慮する必要はない	
文化芸術基本法、矢巾町文化会館条例								概要説明資料	

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					楽器等寄附事業	文化スポーツ課	生涯学習係	渋田 稀結
管理No.		0400-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」
2-5-18 音楽のまちの推進

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	楽器等をお持ちの方
	受益者	楽器等を必要とする町内教育保育施設、学校、その他施設等
意図	家庭などで必要なくなった楽器をメンテナンスし、必要とする施設等とマッチングさせる。	
手段	楽器等の搬出入に伴う費用を負担、メンテナンスや修理に伴う費用を負担	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	D	町内各施設で再活用することにより、利用者がより豊かな生活を送ることができる点では、町が実施する必要性がある。
成果に対する「有効性」	A	町民の善意により、楽器等の寄附件数が見込みより多かった。
事務事業内容の「効率性」	C	搬出入やメンテナンス・修理費は、安心して寄附したり再利用するために支出するものであるため支出は妥当だが、寄附数を制限したり物品の状態を確認した上での受付等、コスト抑制を図る
実施に係る「緊急性」	C	町内施設等に寄付し、多くの町民が活用することは、将来の芸術文化の振興につながる。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)		
活動指標	寄附募集の広報	回	2	1				
	負担額	千円	115	22				
	申出数	件	16	3				
成果指標	申出の受け入れ	件	目標値	16	16	16	17	18
		実績値	16	3				
	受け入れ施設数	件	目標値	5	6	7	8	9
		実績値	7	3				
			目標値					
			実績値					

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

特になし

課題 (若しくは「問題」等)

寄付先を探すのに時間を要する。

改善改革(案)

楽器等を欲している施設等があった場合に寄付を募る。

管理No.	0400-000	名称	楽器寄附事業	予算額 (参考)	136千円	必要人員	0.01/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習	
<p>令和2年度から文化スポーツ課で実施している楽器等寄附事業は、家庭で使われなくなった楽器やスポーツ器具、文化的な品(ひなまつり人形等)を寄附していただき、町内施設で再使用するという事業。</p> <p>令和3年度の寄附物品と、寄付先は、以下のとおり。</p> <p>アップライトピアノ 1台 ⇒ 矢巾町公民館 ひな人形飾り 2セット ⇒ 庁舎1階、矢巾町公民館1階ロビーに設置(保管は町公民館) 五月人形 1セット ⇒ 歴史民俗資料館</p>										
<th>関係する根拠法令等</th> <td colspan="2">特になし</td> <th>災害時優先度</th> <td>特に考慮する必要はない</td>						関係する根拠法令等	特になし		災害時優先度	特に考慮する必要はない
									概要説明資料	

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					男女共同参画推進事業	文化スポーツ課	生涯学習係	渋田 稀結
管理No.		0402-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	男女共同参画を推進しようとする町民
	受益者	男女共同参画を推進しようとする町民
意図	町民一人ひとりが互いを尊重しあらゆる分野において、男性も女性も活躍できる町を実現する。	
手段	町の男女共同参画推進計画の策定及び推進、周知啓発活動、町としての男女共同参画体制の構築	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	男女共同参画社会を実現するためには、町民一人一人の意識を変えていく必要があり、その意識改革を主導していく立場として町が実施する必要性は高い。
成果に対する「有効性」	A	町民の不特定多数を対象としたアンケート結果によると、男女共同参画の浸透や男女平等を感じる割合は目標値にほぼ達しているといえることから、有効性は高い。
事務事業内容の「効率性」	B	行政の立場から呼びかけるほか、地域や家庭から男女共同参画を意識していく必要性があり、男女共同参画サポーターの増等の改善が必要であるが、概ね効率的である。
実施に係る「緊急性」	A	男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを進めることは、年齢や性別、国籍などにとらわれず、すべての人が幸福を感じられるインクルーシブな社会の実現にもつながり、今まさに必要な

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)		
活動指標	矢巾町男女共同参画推進本部会議	回	2	0				
	矢巾町男女共同参画推進懇話会会議	回	2	1				
	男性の育児・介護休暇取得促進のための情報発信件数	件	1	1				
成果指標	審議会・委員会等に占める女性役員の割合	%	目標値	20	21	22	23	24
			実績値	22.5	23.19			
	町内男女共同参画サポーター認定者数	人	目標値	21	23	25	26	27
			実績値	25	25			
		目標値						
		実績値						

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

特になし

課題 (若しくは「問題」等)

男女共同参画を実現するための取組は幅広く他課の協力が必要不可欠であるが、すべてを把握することが難しい。 町民一人一人の意識を変えていくには行政からの呼びかけだけでなく、地域や家庭において男女共同参画を広めていくサポーターが必要不可欠であるが、サポーター養成講座の受講を勧める手段の確保が難しい。
--

改善改革(案)

男女共同参画の推進について、長い目で継続して呼びかけていく必要があること。

管理No.	0402-000	名称	男女共同参画推進事業	予算額 (参考)	85千円	必要人員	0.20/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
<p>矢巾町では、男女共同参画基本法の基本理念にのっとり、「男女が共に互いを尊重し、あらゆる分野において誰もが躍動できる、いきいきと活力に満ちたまちの実現」を目指して、平成28年度に「田園都市やはば第2次男女共同参画プラン」を策定。令和2年度は「田園都市やはば第2次男女共同参画プラン」を策定してから5年が経過したため、主な取り組み内容や指標、目標値について見直し、今後5年間の男女共同参画社会の実現に向けた施策の充実を図るために改定を行いました。</p> <p>田園都市やはば第2次男女共同参画プラン～中間改訂版～の概要(令和2年度改訂)</p> <p>この計画は、男女共同参画社会基本法第14条第3項並びに、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律第6条第2項に基づく計画であり、矢巾町総合計画におけるまちづくりの方針「快適性と安全性を高めるまちづくり」の実現に向けて施策の推進を図るとともに、関連する本町の各種計画との整合性に配慮しています。</p> <p>改訂版の推進期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とし、国内外の動向や社会情勢の変化に対応し、適切な施策の推進を図ることから、必要に応じて見直すこととします。また、それぞれの基本目標者施策ごとに年度目標を盾、その達成状況を毎年管理します。</p> <p>基本理念 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革、女性の活躍支援、男女の人権尊重と暴力の根絶 基本目標 I 男女共同参画の理解促進 II 様々な分野における男女の参画拡大 III 安心安全な暮らしの実現 IV 多様性の尊重とあらゆる暴力の根絶</p> <p>基本目標のIは、主に男女共同参画に関する情報発信、教育・学習の場の提供などを行うことを目標としています。 基本目標のIIは、女性の参画拡大(特に、意思・方針決定過程の場つまり会議等の女性役員の増)、ワーク・ライフ・バランスの推進、多様な働き方を支援することを目標としています。 基本目標のIIIは、生活上の困難(特に、新型コロナウイルス感染症の影響で働くことに制限を強いられた方)への支援、子育てや介護・健康に関する支援の充実、防災における男女共同参画の視点の取り入れ等を目標としています。 基本目標のIVは、性別にとらわれない意識や多様性や人権を尊重すること、暴力を許さない環境や理解の推進を目標としています。</p> <p>男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを進めることは、「男女」とどまらず、年齢や国籍などにとらわれない、ジェンダーフリーに関すること等も含め、幅広く多様な人々を包括し、すべての人が幸福を感じられるインクルーシブな社会の実現にもつながります。この計画に基づき、家庭・地域・企業・行政や町内の各種団体に広く計画の周知に努め、それぞれの立場で自発的に行動できるよう取り組みを進めてまいります。</p> <p>令和3年度の取り組み</p> <p>◆男女共同参画に関するパネル展 ①令和3年10月5日(火)から10月17日(日) DV及びデートDV防止啓発パネルの掲示 ②令和4年11月9日(火)から11月17日(水) LGBT及びワークライフバランス理解促進パネルの掲示</p> <p>◆男女共同参画に関する各課の取組のとりまとめ及び公表 令和4年3月に取りまとめた結果を町ホームページで公表しました。</p>									
関係する根拠法令等	男女共同参画社会基本法、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律、矢巾町男女共同参画推				災害時優先度	特に考慮する必要はない		概要説明資料	

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					青少年健全育成町民会議運営支援に係る事務	文化スポーツ課	生涯学習係	佐藤武文
管理No.				0403-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」	
2-2-9	青少年の健全育成

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	矢巾町青少年健全育成町民会議
	受益者	町民会議の対象者である青少年
意図	青少年問題の重要性を鑑み、町民の相違を結集し、次世代を担う青少年の健全育成を図ることを目的として、事務支援を行う。	
手段	町民会議が計画する事業に対し、事務局として支援。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	C	青少年という社会ステージにあるものに対し、豊かな学びの場を提供する事業であることから、引き続き支援が必要である。
成果に対する「有効性」	A	コロナ禍でできなかつたり、縮小したりした事業もあったが、
事務事業内容の「効率性」	C	青少年に対し需要のあるものと実際の事業がマッチングしていないことから、改善が必要。
実施に係る「緊急性」	C	緊急性はないが、将来を担う子供たちの育成のため引き続き実施していく必要あり。

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	町民会議主催事業数	個	4	4				
成果指標	親子劇場の開催数	回	目標値	9	9	9	9	9
			実績値	9	9			
	やまゆり賞の表彰数	人	目標値	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
			実績値	2	5			
		目標値						
		実績値						

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

昨年企画した若者を集めた懇談会では、若者から町民会議の従来の活動と若者が求めているものにずれがあることの指摘があった。

課題 (若しくは「問題」等)

町民会議が現在行っている事業と実際のニーズにはずれがあることから事業内容を検討する必要がある。

改善改革(案)

町民会議で事業検討委員会を立ちあげ事業の見直しを検討。検討の際には、若者の意見を聞く会も設けることを検討中。検討し内容を整理したのち、新事業を展開していく予定。

管理No.	0403-000	名称	青少年健全育成町民会議運営支援に係る事務	予算額 (参考)		必要人員	0.40/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	----------------------	-------------	--	------	----------	-----	--------------

○町民会議の目的
 青少年問題のもつ重要性にかんがみ町民の心のふれあいを基本とした連帯感のもとに広く町民の総意を結集し、次代を担う青少年の健全育成を図ることを目的とする。

○青少年健全育成町民会議の主な活動

- ・論文・作文募集事業 青少年から作文を募集し、審査・表彰を行う。
- ・親子芸術文学鑑賞事業「親子劇場」 町内保育園に劇団を誘致し、鑑賞事業を実施。
- ・「命の先生派遣事業」 青少年に命の大切さを学んでもらうため、町内小中学校に希望があれば講師派遣の助成を行う。
- ・「やまゆり賞」表彰事業 長年、青少年の健全育成に携わった町民を自治会から表彰する事業を実施。

その他、節目に講演会等大きい事業を行っている。

町では、事務局として、活動の支援を行っている。

関係する根拠法令等	矢巾町青少年健全育成町民会議規約	災害時優先度	特に考慮する必要はない	概要説明資料
-----------	------------------	--------	-------------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					芸術文化振興基金運営委員会事業	文化スポーツ課	生涯学習係	花立政広
管理No.				0404-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」	
2-5-17	芸術・文化活動の推進の充実

事務事業の方向性
縮小

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	委員会委員
	受益者	町民
意図	町内の芸術文化活動の振興のため提案をいただき、情操豊かな生活の形成に資することを目的とする。	
手段	矢巾町芸術文化振興基金運営委員会の運営	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	D	当委員会で行う事業は町の活力や賑わいの創出のためとはなるものの町事業として行える事業のため。
成果に対する「有効性」	E	芸術文化の振興を図る事業としては、文化スポーツ課の他の事務事業においても行っており、差別化を図ることが難しい。
事務事業内容の「効率性」	E	実際の事務事業は文化スポーツ課で行っており、わざわざ委託する必要はないと考える。
実施に係る「緊急性」	C	緊急性は低いものの、引き続き芸術文化の振興のため事業を実施が必要。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	自主事業の開催回数	回	1			
	委員会の開催回数	回	1	1		
成果指標	参加人数	人	目標値	1000		
		実績値	430			
		目標値				
		実績値				

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

特になし

課題 (若しくは「問題」等)

会の存在意義が不透明である。

改善改革(案)

令和3年度からは委員会への委託を行わず、町の単独の事業として行うこととしたため、これからの委員会のあり方を検討していく。
--

管理No.	0404-000	名称	芸術文化振興基金運営委員会事業	予算額 (参考)		必要人員	0.30/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	-----------------	-------------	--	------	----------	-----	--------------

○目的
町内の芸術文化活動の振興のため提案をいただき、情操豊かな生活の形成に資することを目的とする。

関係する根拠法令等	矢巾町芸術文化振興基金運営委員会会則	災害時優先度	特に考慮する必要はない	概要説明資料
-----------	--------------------	--------	-------------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					芸術文化協会補助事業	文化スポーツ課	生涯学習係	渋田 稀結
管理No.		0405-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-5-17	芸術・文化活動の推進の充実

事務事業の方向性
改善

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	矢巾町芸術文化協会
	受益者	町民
意図	矢巾町芸術文化協会に対し補助金を交付することにより、町民があらゆる分野の芸術に触れる機会を確保することができ、町の芸術文化活動推進の充実を目指す。	
手段	補助金の交付	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	C	町芸術文化協会は、会員の高齢化と若い世代の加入がないことから、年々その規模を縮小しており、協会単独で芸術祭を開催することは難しいため、町が補助する必要がある。
成果に対する「有効性」	C	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により芸術祭の参加者を協会加入団体・加入個人に限定したが、全4部門を開催した。4部門のうち1部門は、音楽祭と合同で開催することにより芸術祭の開催方法や、参加団体、観覧者の増に向けた広報周知活動等に関して改善の余地がある。
事務事業内容の「効率性」	C	
実施に係る「緊急性」	C	芸術文化活動の推進の充実は、町の活力や賑わい、芸術文化団体の保護、育成等が目的であるため、長期的な視野で事業を継続していく必要がある。

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	補助金申請数	件		1				
	補助金額	千円		150				
成果指標	補助金交付率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値		60			
	町芸術祭の開催	部門	目標値	5	5	5	5	5
			実績値		4			
	芸術祭参加者数	人	目標値	750	760	770	780	790
			実績値		460			

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

芸文協の団体は高齢者の集まりで、若い方が入りたいサークルがない。

課題 (若しくは「問題」等)

<p>芸術文化団体の加入者が高齢化している中、既存する団体に若い世代が入っていきにくい状況がある。 芸術文化団体同士の固執や、団体からの運営に対する要望も多く、それぞれの団体の言い分をすべて取り入れていくことが難しい。</p>
--

改善改革(案)

<p>町芸術文化協会のあり方、町芸術祭の運営のあり方について長期的な視野で検討していく。</p>
--

管理No.	0405-000	名称	芸術文化協会補助事業	予算額 (参考)	404千円	必要人員	0.10/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	------------	-------------	-------	------	----------	-----	--------------

矢巾町芸術文化協会は、矢巾町の芸術文化の振興を図り、町民の健全な生活文化の向上に寄与することを目的として、昭和51年11月5日に組織された。成り立ちは、昭和51年10月25日に矢巾町民検証が制定され、その第2項に「すすんで教養を身につけ郷土の芸術文化をたかめます」と掲げられたことから、それまで長年にわたり個人やグループが個々任意に熱心に活動を展開して矢巾町の芸術文化は相当の広がり水準に達していたが、町民憲章が制定されたことを契機にその道の諸有志が呼びかけて、矢巾町の芸術文化を一層振興させ、町民の生活文化の向上に寄与することを目指して、町内の芸術的、文化的活動団体と愛好者が団結して組織することとなった。(初代会長に小笠原貴代一、副会長に勝又国男、藤原こうが推されて就任された。)

それ以来長年の間、活動と拡大が一段と活発化した。

令和3年現在は、舞踊部門、邦楽・ダンス部門、器楽合唱部門、華道・茶道部門、絵画・文芸・書道・盆栽・手工芸部門の全5部門を形成し、会員数は38団体4個人となっている。年々、会員の高齢化や後継者不足が懸念されており、加入団体・個人数は減少傾向であるため、加入者募集に力を入れている。

矢巾町芸術文化協会の主な活動は、町の補助対象事業でもある「矢巾町芸術祭」の運営である。

矢巾町芸術祭は、令和3年度で第56回を数え、矢巾町芸術文化協会が組織される前から行われてきた長い伝統と歴史を持つ祭典であり、先に説明したとおり芸術文化の継承を担う人材不足が危機的状況のなか、この祭典をなくすことなく今後も続けていくためには、若手の関心を惹くような芸術祭のあり方、芸術文化協会のあり方を検討していく必要があり、長期的な視野で取り組んでいく。

令和3年度は、感染対策を講じながら、第56回矢巾町芸術祭(舞踊部門、邦楽ダンス部門、展示部門)を開催。また、矢巾町音楽祭実行委員会と合同主催として、第2回矢巾町音楽祭・第56回矢巾町芸術祭(吹奏楽・合奏部門、ピアノ・合唱部門)も開催。

関係する根拠法令等	矢巾町芸術文化協会会則	災害時優先度	特に考慮する必要はない	概要説明資料
-----------	-------------	--------	-------------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					視聴覚教育事業	文化スポーツ課	生涯学習係	藤島 航
管理No.		0406-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-3-10	多様な世代に向けた学習機会の充実

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	町民
	受益者	町民
意図	映画鑑賞をとおして豊かな芸術文化に触れることを目的とする。	
手段	映画会の開催	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	社会教育法において、視聴覚教育に必要な設備、機材及び資料の提供にすることが定められているため。
成果に対する「有効性」	B	前年度はコロナ禍により、参加者が著しく減少したが、子どもを中心に参加者が増加した。
事務事業内容の「効率性」	C	DVDの借上料に対し参加者が少ないため、無料の視聴覚ライブラリーの効果的な利用が求められる。
実施に係る「緊急性」	D	緊急性は低いものの、特に子供向け映画会に関しては幅広い分野の教材に触れることで情操教育につながるため引き続き行っていく必要がある。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)		
活動指標	映画会の開催	回	3	4				
	上映数	タイトル	6	7				
成果指標	参加人数	人	目標値	120	120	150	180	210
		実績値	45	143				
		目標値						
		実績値						

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

毎年映画祭を楽しみにしている。 幅広い分野の映画を上映してほしい。

課題 (若しくは「問題」等)

コロナ禍により人数制限を設ける必要があるため、参加者数をコロナ前の水準に戻すことが難しい。特に大人の参加者数が少ない。

改善改革(案)

PR及び町民のニーズを把握したうえで、上映日や上映作品を選ぶ。

管理No.	0406-000	名称	視聴覚教育事業	予算額 (参考)	406千円	必要人員	0.30/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	---------	-------------	-------	------	----------	-----	--------------

<p>○目的 映画鑑賞をとおして豊かな芸術文化に触れる。</p> <p>○映画会の開催</p> <p>(1) 田園映画祭(7/6~8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッツ(日本語吹替版) 参加者14名 ・最高の人生の見つけ方 参加者23名 ・ゆずり葉の頃 参加者17名 <p>(2) 夏休み子ども映画会(8/11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アダムス・ファミリー 参加者22名 ・トムとジェリー 夢のチョコレート工場 参加者53名 <p>(3) 春休み子ども映画会(3/25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムーミン 南の海で楽しいバカンス 参加者8名 <p>(4) こびるの映画会(3/26)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日かあさん 参加者6名 <p>※2/26にも開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止。</p>									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

関係する根拠法令等	社会教育法	災害時優先度	特に考慮する必要はない	概要説明資料
-----------	-------	--------	-------------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					電子図書事業	文化スポーツ課	生涯学習係	藤島 航
管理No.		0407-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」
2-3-12 図書センターの蔵書充実

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	矢巾町民(通学・通勤者含む)、近隣市町(盛岡・紫波・雫石)在住者
	受益者	矢巾町民(通学・通勤者含む)、近隣市町(盛岡・紫波・雫石)在住者
意図	図書センターへ来館できない人が自宅や外出先からも利用が可能であり、幼少期から英語教育に親しめる環境を整えるため。	
手段	コンテンツの購入、電子図書の周知活動	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	B	町・楽天・アマナとの連携協定において、電子図書の活用促進について定められているため。
成果に対する「有効性」	C	引き続き周知活動が必要ある。
事務事業内容の「効率性」	B	図書センター、委託業者と連携しながら業務を行っている。
実施に係る「緊急性」	C	今後、電子図書の重要性の高まりが見通せることから、環境を整えておく必要がある。

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	周知活動	回	2	2			
	コンテンツ購入数	コンテンツ	800	657			
成果指標	貸出者数	人	目標値	350	400		
			実績値	371	425		
	貸出コンテンツ数	コンテンツ	目標値	600	800		
			実績値	791	753		
			目標値				
			実績値				

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

電子図書は、コロナ禍において利用しやすいものではあるが、その存在を知らない人も多いと思う。図書のラインナップに偏りがあるように感じる。(英語の書籍が多い)

課題 (若しくは「問題」等)

利用者の認知度が低い。

改善改革(案)

広報周知に努める。引き続き、図書センターでの「電子図書おはなし会」を開催する。

管理No.	0407-000	名称	電子図書事業	予算額 (参考)	2,596千円	必要人員	0.10/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	--------	-------------	---------	------	----------	-----	--------------

○背景
 楽天、アマナとの包括連携協定を締結したことにより導入に至った。

○目的
 様々な事情により図書センターに行きづらい方に対しても、家にいながら図書センターを利用する環境を提供する。
 多言語コンテンツが充実していることから、子供たちが英語に触れ、矢巾の子供たちがグローバル社会の中で活躍していけるよう環境の整備。

○実績(R3年度)
 貸出人数 425人
 貸出コンテンツ数 753コンテンツ
 所蔵タイトル数 2,332タイトル(R2年度末)

関係する根拠法令等	インターネットサービス等を通じた地域活性化にかかる包括連携協定書	災害時優先度	特に考慮する必要はない	概要説明資料
-----------	----------------------------------	--------	-------------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					高齢者教育事業	文化スポーツ課	生涯学習係	藤島 航
管理No.		0408-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
5-17	高齢者の生きがいがづくりと社会参加の推

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	町内の60歳以上の者
	受益者	町内の60歳以上の者、その家族
意図	高齢者が高齢社会をたくましく生きぬき、生きていてよかったという生きがい感を高めるために豊かな生涯学習を続け、その力を発揮して住みよい地域づくりに参加していくため。	
手段	高齢者大学(青松学園大学)の運営	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	C	仲間と共に学ぶことで生きがいがづくりの創出や社会参画の一助となり、健康寿命の増進や社会貢献が期待されることから町が実施する必要性はあると考える。
成果に対する「有効性」	E	コロナ禍のため、令和3年度は全講座を中止とした。
事務事業内容の「効率性」	D	近年、個人会員の数が増加しており事務局の負担が大きくなっている。
実施に係る「緊急性」	C	高齢者への学習機会の提供は健康寿命の増進に寄与するため、毎年実施する必要があると考えられる。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)		
活動指標	周知活動	回						
	講座開催回数	回						
成果指標	学園生数	人	目標値	500	510	520	530	540
			実績値					
	出席率(平均)	%	目標値	50	50	50	50	50
			実績値					

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

高齢者なので、コロナ感染が心配である。

課題 (若しくは「問題」等)

会員の増加やコロナ対策における人数制限等により、今までと同じような講座の開設が難しい。開催規模の縮小も検討する。
--

改善改革(案)

感染対策を講じつつ安全に開催することができるよう、講座内容や時間を検討する。また、謝恩会など飲食を伴うものは原則廃止する方向ですすめる。
--

管理No.	0408-000	名称	高齢者教育事業	予算額 (参考)	362千円	必要人員	0.30/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習
-------	----------	----	---------	-------------	-------	------	----------	-----	--------------

青松学園大学の運営について

- ・急速に変容する社会と高齢化社会の進展に対応するために、「高齢化を生きる知恵」「高齢者の役割と社会参加」「生きる喜び」を促進する場として運営している。
- ・受講対象はおおむね60歳以上の町民で、地区クラブに依頼して募集するほか、町の広報を通じて呼びかけており、受講者は年々増加しており約500名。
- ・企画・運営については、運営委員会を組織し、講座内容や運営についてを検討し、学園生の意見も尊重しながら実施している。
- ・6月の開講式に始まり12月の閉講式まで、講話、鑑賞やステージ発表を行っている。また、健康長寿課とタイアップし、血圧測定や高齢者の健康管理にも配慮している。
- ・永年受講者に対し、表彰を実施しているほか、文集「青松」を発刊している。

関係する根拠法令等	社会教育法	災害時優先度	特に考慮する必要はない	概要説明資料
-----------	-------	--------	-------------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					矢巾町音楽祭開催事業	文化スポーツ課	生涯学習係	佐藤武文
管理No.		0409-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-5-18	音楽のまちの推進

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	矢巾町音楽祭実行委員会
	受益者	音楽祭に参加する町民、音楽祭を観に来る町民
意図	矢巾町音楽祭実行委員会に対し補助金を交付することにより、町民が音楽に親しみ音楽に関心をもつ場が生まれ、音楽のまちやはばの魅力創造を目指す。	
手段	負担金の交付	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	C	矢巾町は「音楽のまち」宣言をしており、音楽のまちを推進するために音楽祭が開催されることから、委員会単独の事業ではなく、町が実施する必要がある。
成果に対する「有効性」	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防に徹底しながら、町内小中学校を中心とした児童生徒の発表の場の機会となった。コロナ禍の中でも音楽を楽しむ機運の醸成に繋がった。
事務事業内容の「効率性」	C	町芸術祭のあり方とともに、音楽祭のあり方も検討していく必要があることから若干の改善が必要である。
実施に係る「緊急性」	B	音楽のまちを推進していくことは、町民が音楽を通してより豊かな生活を送ることができるようにするものであり、長期的な視野で事業を推進していく必要がある。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	負担金申請件数	件	1	1			
	負担金交付額	千円	504	364			
成果指標	町音楽祭の開催	日間	目標値	1	1	1	1
		実績値	1	2			
	出演者数	団体	目標値	10	11	12	13
		実績値	7	15			
	観覧者数(総計)	人	目標値	728	750	750	750
		実績値	627	622			

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

コロナ感染防止対策については、万全を期すよう実行委員会会議で委員よりあった。
--

課題 (若しくは「問題」等)

音楽といっても様々なジャンルがあり、参加者や観覧者、音楽祭の内容の固定化が懸念される。

改善改革(案)

年代や性別、ジャンル等にこだわらない開催方法として、年度ごとに開催内容を見直す。町芸術祭との兼ね合い等も考慮し、両方のあり方を長期的な視野で検討していく。コロナ対策については、田園ホール職員と対策を協議する。
--

管理No.	0409-000	名称	矢巾町音楽祭開催事業	予算額 (参考)	364千円	必要人員	0.10/人・年	部署名	文化スポーツ課 生涯学習	
<p>矢巾町は、平成28年11月6日に「音楽のまち やはば」を宣言した。 【音楽のまち やはば 宣言】 わたくしたちは、みどり豊かなふるさと”やはば”を、ここに暮らすやさしい人々と、あふれる音楽を、愛し、誇りとしています。わたくしたちは、音楽を通して、人と人とが織りなす心を紡ぎ、次の世代につなぎます。まちを歩けば、どこからともなく音楽が聞こえてくる、明るく、楽しい、心豊かなまちづくりを目指し、本日、ここに”音楽のまち やはば”を宣言します。平成28年11月6日 岩手県 紫波郡 矢巾町</p> <p>この宣言は、住民が音楽に親しみ、その活動に愛着と誇りを持てるまちづくりを進めていくため、町内小中学校での合唱やマーチング、吹奏楽などの学校の特性を生かした音楽活動に加え、器楽や合唱をはじめとした地域の多彩な団体が個性豊かに活動しており、さらに、県立不来方高校音楽部という全国レベルの団体もあるため、これらの豊かな音楽資源を活かしながら、住民一人一人が音楽に親しみ、もっと身近に感じられる機会を日常的に作り上げることを目指し、住民や行政が共同して”音楽のまちづくり”に取り組んでいくことを目的としている。</p> <p>この宣言以降、平成29年度には、矢幅駅東西自由通路インフォメーションコーナーで街角クリスマスコンサート(熊谷綾子マリンバコンサート)や、町公民館ややはば一くでミニコンサート(いわてフィルハーモニーオーケストラや町内ピアノ教室の出演)を行った。平成30年度には、町内小学校で手作り楽器工作教室(ツジヤマガクのカズー＝音階なしの笛を加えて歌うように音を出す楽器＝づくり体験)や強度大学交響楽団コンサートを行っている。※主要事業を抜粋して紹介。</p> <p>令和2年度、矢巾町音楽祭実行委員会を立ち上げて、第1回矢巾町音楽祭を開催した。 新型コロナウイルス感染症の影響により様々なイベントが中止となったことから、小中高生の日頃の成果を発表する機会を提供するとともに、普代村との交流が20年目を数えることから、普代村で活動している郷土芸能団体を招へいし、催しを盛り上げて町民に元気になっていただくことと、矢巾町の芸術文化振興を図ることを趣旨に開催した。 実施日は、令和2年10月18日(日)、午前の部と午後の部に分けて実施した。 出演団体は、煙山小学校吹奏楽部(児童77名、引率2名)、不動小学校第4学年(児童33名、引率2名)、矢巾中学校吹奏楽部(生徒37名、引率2名)、矢巾北中学校特設吹奏楽部(生徒41名、引率1名)、矢巾北中学校特設合唱部(生徒50名、引率1名)、不来方高等学校音楽部(生徒67名、引率3名)、普代村鶴鳥神楽保存会(7名)。 観覧者は、午前の部325人、午後の部302人であった。感染症拡大防止対策として無料入場チケットを配布し、座席指定をおこなった。 令和2年度としては貴重なイベントとなり、出演者、観覧者から大変好評をいただいた。</p> <p>令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、矢巾町芸術文化協会と共同開催。 ・第2回矢巾町音楽祭の開催 吹奏楽・合奏部門(11/6)出演7団体 来場者344名 ピアノ・合唱部門(11/7)出演7団体2個人 来場者278名</p>										
関係する根拠法令等						音楽のまちやはば宣言、矢巾町音楽祭実行委員会会則		災害時優先度		特に考慮する必要はない
概要説明資料										

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					埋蔵文化財試掘調査事業	文化スポーツ課	文化財係	門脇 耕一
管理No.		0410-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-6-19	歴史的資産の調査と情報発信の推進

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	開発行為者
	受益者	開発行為者
意図	町内には多くの埋蔵文化財包蔵地が存在するが、多くは地下にあるため重機で掘削しないとその内容がわからない。開発中に埋蔵文化財が発見されると、開発サイドにとって大きな損害を受けること・社会的に大きな問題になることが予想されるため、前もってその内容を調査する。	
手段	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財包蔵地内における開発行為内容の把握 埋蔵文化財包蔵地内における開発行為に係る届出書の受付 埋蔵文化財と開発内容との調整 必要に応じて試掘調査等を行い、埋蔵文化財の保護を図る 	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	文化財保護法により定められている文化財であり、法律で実施が義務付けられている。
成果に対する「有効性」	A	埋蔵文化財が開発により破壊され、社会問題化することを防ぐ。
事務事業内容の「効率性」	B	開発行為地に埋蔵文化財がある場合、手続きを円滑に行う必要性があるが、事業者の協力を求めるのに労力が必要。
実施に係る「緊急性」	A	開発行為が発生した際には迅速に調査する必要がある。

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	埋蔵文化財発掘届出数	件	30	22				
	現場の確認件数	件	30	19				
	遺跡分布図の更新	回	1					
成果指標	適正処理割合	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100			
			目標値					
			実績値					

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

工事箇所が埋蔵文化財包蔵地である場合、発掘調査をしなければならないと思っているケースが多い。

課題 (若しくは「問題」等)

違反行為に罰則がないため、いかに開発者に理解を得られるようにするのが周知を行う必要がある。

改善改革(案)

町として、文化財が大切なものだという共通認識をもってもらい、町を挙げての取組とする。

管理No.	0410-000	名称	埋蔵文化財試掘調査事業	予算額 (参考)	429千円	必要人員	0.20/人・年	部署名	文化スポーツ課 文化財係	
<p>文化財保護法に則った業務である。法第3条に「政府及び地方公共団体は、文化財がわが国の歴史、文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであり、且つ、将来の文化の向上発展の基礎をなすものであることを認識し、その保存が適切に行われるように、周到の注意をもってこの法律の趣旨の徹底に努めなければならない。」とある。</p> <p>周知の埋蔵文化財包蔵地における開発に伴う、法令(文化財保護法)上の義務的経費である。必要に応じて試掘調査を行うことにより、保存等開発との円滑な調整を図る。</p> <p>開発者側から上がってきた届出に応じ、必要に応じて実施するため、前年度における正確な予算見積は困難である。周知の埋蔵文化財包蔵地における開発に伴う、法令(文化財保護法)上の義務的経費である。必要に応じて試掘調査を行うことにより、保存等開発との円滑な調整を図る。</p>										
関係する根拠法令等 文化財保護法						災害時優先度	特に考慮する必要はない	概要説明資料		

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					徳丹城跡整備事業	文化スポーツ課	文化財係	泉山弘道
管理No.		0411-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-6-20	国指定史跡徳丹城跡の魅力発信

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	町民
	受益者	町民
意図	整備により徳丹城跡の魅力発信や理解度の向上を図ると共に、町民の憩いの場として機能させる。	
手段	<ul style="list-style-type: none"> 整備活用委員会において整備に係る専門家や地域住民の意見を聴取する。 建物等の遺構を復元することにより理解度の向上を図る。 園地としても整備することにより憩いの場として機能させる。 	

指標 (効果)

				2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	整備活用委員会開催	年回数		1	2			
成果指標	第2次史跡整備進捗率	%	目標値	20	40	60	80	100
			実績値	10	30			
				目標値				
				実績値				

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	文化財保護法に基づいた国指定史跡であることから、適正に整備を実施する必要がある。
成果に対する「有効性」	B	第2次史跡整備を進めていくことにより、徳丹城跡の理解度の向上と、憩いの場の創生が図られる。
事務事業内容の「効率性」	B	国庫補助事業により進めるが、工事費が嵩む事業であり、AR技術を活用したコスト抑制を図りながら進める必要がある。
実施に係る「緊急性」	A	第2次史跡整備基本設計に基づき5か年計画で整備することとしている。

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

史跡としての整備だけではなく、利便施設としての活用に対する要望が根強い。

課題 (若しくは「問題」等)

国庫補助金の削減により計画に遅れが生じている。

改善改革(案)

<p>史跡の整備及び活用について広く町民に意見を求める。 文化庁へ引き続き事業の重要性や緊急性を訴えて補助金の確保に努めると共に、整備費用の縮減により効率的な整備を進める。</p>
--

管理No.	0411-000	名称	徳丹城跡整備事業	予算額 (参考)	62,923千円	必要人員	0.20/人・年	部署名	文化スポーツ課 文化財係
-------	----------	----	----------	-------------	----------	------	----------	-----	--------------

○令和2年度から5か年計画で整備を実施中
 歴史民俗資料館の東側から国道4号線までの間のエリアについて整備を実施。
 ・未整備となっていた国道4号線付近を始めとして当時の低位段丘を再現し緑地化を進める。
 ・井戸や工房などの遺構の平面表示、東西道路の復元を行う。
 ・休憩所などを設置して園地化を進める。
 ※国庫補助金による2分の1補助があるが、令和2年度は文化庁のシーリングにより補助額が58%減額となったため整備が遅れている。

関係する根拠法令等	災害時優先度	概要説明資料
-----------	--------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					徳丹城跡管理運営に係る事務	文化スポーツ課	文化財係	泉山弘道
管理No.		0412-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-6-20	国指定史跡徳丹城跡の魅力発信

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	町民、ボランティアガイド
	受益者	町民
意図	史跡徳丹城跡の利活用を推進する。関連する他史跡との情報交流を図る。	
手段	徳丹城跡を活用したイベントの開催 ボランティアガイドの育成	

指標 (効果)

指標 (効果)				2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	徳丹城跡を活用したイベントの開催(春まつりを除く)	年回数						
	ボランティアガイド研修会	年回数						
成果指標	徳丹城跡に関するイベントの参加者数	人数	目標値	300	500	700	900	900
			実績値					
	ボランティアガイド登録数	人数	目標値	7	8	9	10	11
			実績値	7	7			
			目標値					
			実績値					

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	文化財保護法に基づいた国指定史跡であることから、適正に管理運営をする必要がある。
成果に対する「有効性」	B	イベントの開催やボランティアガイドの充実を図ることにより、徳丹城跡の魅力発信ができる。
事務事業内容の「効率性」	B	ボランティアガイドの育成を行うことによって、徳丹城を知る人、関心を持つ人が増えてくる。
実施に係る「緊急性」	C	徳丹城跡を観光資源として活用していく必要がある。

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

徳丹城跡及びその周辺の活用の充実について強い要望がある。

課題 (若しくは「問題」等)

ボランティアガイドを募っても、公募だけでは応募が少ない状況である。ボランティアガイドのスキルアップ。
--

改善改革(案)

広報等による公募だけでなく、イベント時にPRする等、ボランティアガイドの募集方法を見直す。定期的なボランティアガイドのスキルアップ研修会の実施。
--

管理No.	0412-000	名称	徳丹城跡管理運営に係る事務	予算額 (参考)	538千円	必要人員	0.15/人・年	部署名	文化スポーツ課 文化財係
-------	----------	----	---------------	-------------	-------	------	----------	-----	--------------

ボランティアガイドを活用した情報発信を行う。
 史跡区域内の草刈を始めとした管理を行う。
 ※草刈業務については今年度は芝刈機等を購入して自営で行ったが、通常業務を行いながら適正に管理するのは困難であることから、来年度以降は今年度購入した芝刈機等を貸出すなどして地元自治会等に業務委託することで調整中。

◎歴史民俗資料館北側の農地を駐車場用地として購入予定。農地転用の観点から購入と整備を同時に行う必要あり。時期や予算額については調整中。

関係する根拠法令等	災害時優先度	概要説明資料
-----------	--------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					文化財保護管理事業	文化スポーツ課	文化財係	泉山弘道
管理No.				0413-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」	
2-6-19	歴史的資産の調査と情報発信の推進

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	文化財の関係者(所有者、管理者、伝承者等)
	受益者	文化活動に携わる町民(文化財や歴史、文化)
意図	町内にある162か所の遺跡や町指定文化財の保護及び管理を行う。	
手段	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会を開催し、文化財の保護及び管理を行う。 文化財を活用したイベントを開催し、文化財保護の意識を高める。 	

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	指定文化財の状況調査	回/年		1				
	文化財イベントの開催	回/年		4				
成果指標	指定文化財件数	件	目標値	40	40	40	41	41
			実績値	40	40			
	文化財イベントの参加者数	人	目標値	20	50	100	150	150
			実績値		32			
			目標値					
			実績値					

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	文化財保護法に基づき文化財を適正に保護管理する必要がある。
成果に対する「有効性」	B	指定文化財件数を増やすことにより、貴重な文化財の保護管理を徹底することが出来る。
事務事業内容の「効率性」	A	町内の全ての文化財の状態を、常に把握するというのは容易ではない。所有者及び管理者との綿密な連携が求められる。
実施に係る「緊急性」	A	経年劣化により管理上問題が生じており、早急な対策が必要になっている。

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

天然記念物等の解説板が、劣化により無くなっているため設置の要望がある。

課題 (若しくは「問題」等)

各文化財の現状を把握しきれていない部分がある。

改善改革(案)

文化財保護審議会委員や各文化財の管理者と積極的に連携を取ると共に、定期的に巡見を行う。

管理No.	0413-000	名称	文化財保護管理事業	予算額 (参考)	1,392千円	必要人員	0.25/人・年	部署名	文化スポーツ課 文化財係
-------	----------	----	-----------	-------------	---------	------	----------	-----	--------------

遺跡及び文化財の草刈等の管理、案内板の設置等を実施。

関係する根拠法令等

災害時優先度

概要説明資料

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					町郷土芸能団体後継者育成に関する事務	文化スポーツ課	文化財係	門脇 耕一
管理No.		0414-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-6-21	伝統芸能の後継者育成

事務事業の方向性
拡充

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	郷土芸能に携わる方
	受益者	文化活動に携わる町民
意図	地域に伝わる郷土芸能は、町内の住民で構成され、地域に密着した文化財として非常に重要であることから、これまで町では活性化のためにさまざまな援助を行ってきた。 現在主に行っているのは、郷土芸能大会の開催である。郷土芸能を公開し、広く鑑賞・伝承団体が行う後継者育成の支援に努めるとともに、伝統芸能を発表する機会の確保に努める。	
手段	・町内の郷土芸能団体で構成されている矢巾町郷土芸能保存会の活動を、サポートする。 ・郷土芸能を発表する機会の一手段としての矢巾町郷土芸能大会を開催する。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	文化財保護法で保護すべき文化財として規定されている無形民俗文化財であり、町段階では町文化財保護条例でも規定されている。
成果に対する「有効性」	A	郷土芸能は町の歴史文化を認識する上で必要な要素であり、有効性が高いと考えられる。
事務事業内容の「効率性」	B	すぐに効果が出るものではないため、効率性が良いとは言えない
実施に係る「緊急性」	A	郷土芸能に携わる方の高齢化が進んでおり、保護するためには早急な対応が必要となっている。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	矢巾町郷土芸能保存会登録団体数	14	14				
	矢巾町郷土芸能大会開催回数						
成果指標	矢巾町郷土芸能大会観客数	目標値	800	800	800	800	800
		実績値					
		目標値					
		実績値					

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

活動費用がかかるため、活動に対する助成を強化してほしい。

課題 (若しくは「問題」等)

町内各地で伝統芸能を伝承する多くの団体において、地域の少子化や会員の高齢化などによる後継者不足が進んでおり、新陳代謝もない。

改善改革(案)

・町の施策として、地元の郷土芸能が大事だという共通認識をもってもらい、現状以上のサポートを行う。
・イベントにおいて郷土芸能団体に出演いただく際は、基本的に当町以外の団体には出演いただかないようにしてほしいし、イベントでは積極的に町の郷土芸能団体に出演いただくようにしてほしい。
・町からの補助金の交付を検討する。

管理No.	0414-000	名称	町郷土芸能団体後継者育成に関する事務	予算額 (参考)	596千円	必要人員	0.20/人・年	部署名	文化スポーツ課 文化財係
<p>文化財保護法に則った業務である。法第3条に「政府及び地方公共団体は、文化財がわが国の歴史、文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであり、且つ、将来の文化の向上発展の基礎をなすものであることを認識し、その保存が適切に行われるように、周到の注意をもつてこの法律の趣旨の徹底に努めなければならない。」とある。</p> <p>郷土芸能大会の開催 毎年1回 昭和39年の矢巾「村」時代から開催されている、町内・県内でも有数の歴史を誇る行事である。本年度は44回目を開催する予定であったが、コロナ感染拡大防止のため中止となった。</p>									
<p>関係する根拠法令等 文化財保護法、町文化財保護条例</p>						<p>災害時優先度 特に考慮する必要はない</p>		<p>概要説明資料</p>	

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					矢巾町歴史民俗資料館・佐々木家曲家管理運営に係る事務	文化スポーツ課	文化財係	泉山弘道
管理No.					0415-000	事業コード		

総合計画「施策の方向」	
2-6-19	歴史的資産の調査と情報発信の推進

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	資料館入館者
	受益者	資料館入館者、春まつり来場者
意図	<ul style="list-style-type: none"> 文化遺産を後世に伝える。 資料館及び曲家の活用を行う。 地域の活性化及び徳丹城の活用やPRを行う。 	
手段	<ul style="list-style-type: none"> 町が所蔵する資料の保存・活用を行う。 資料館を核に徳丹城春まつりを開催する。 	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	資料館には県指定の文化財を保管していると共に、曲家は町指定の文化財となっている。このことから、文化財保護法に基づき適正に管理運営を行う必要がある。
成果に対する「有効性」	B	資料館の来場者や春まつりの来場者が増加することにより、資料館や曲家の持つ魅力を広くアピールすることが出来る。
事務事業内容の「効率性」	B	春まつりは町内外の方に対する認知度が上がっており、来場者数は定着傾向にある。
実施に係る「緊急性」	A	佐々木家曲家の茅葺屋根の劣化が著しく、早急な補修が必要となっている。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)		
活動指標	資料館企画展の開催	回/年	1					
	資料館無料開放	日/年	1	1				
成果指標	資料館入館者数	人/年	目標値	2000	2000	2100	2200	2300
		実績値	1209	897				
	春まつり来場者数	人	目標値	7000		7000	7000	7000
		実績値						

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

展示内容の充実が求められている。

課題 (若しくは「問題」等)

資料館の来館者の増加と、曲家の更なる活用が求められる。曲家の老朽化に伴う維持補修が急務となっている。
--

改善改革(案)

資料館の展示方法や企画展の内容を充実させる。曲家の活用について、課を超えて連携を図り魅力的なイベントを開催する。補助事業等を活用した曲家の維持補修。
--

管理No.	0415-000	名称	矢巾町歴史民俗資料館・佐々木家曲家管理運営に係る事務	予算額 (参考)	459千円	必要人員	0.20/人・年	部署名	文化スポーツ課 文化財係
-------	----------	----	----------------------------	-------------	-------	------	----------	-----	--------------

○矢巾町歴史民俗資料館
 収蔵品の保存、管理、展示を行う。
 常設展示以外に年に1～2回程度のペースでテーマを決めた企画展の開催。
 建物の管理、維持補修。

○佐々木家曲家
 建物の管理、維持補修(茅葺屋根の葺き替えの必要性がある)
 自主事業の開催、貸出などの利活用。

関係する根拠法令等	災害時優先度	概要説明資料
-----------	--------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					オリンピック聖火リレー・パラリンピック聖火フェスティバル事業	文化スポーツ課	スポーツ担当	佐々木
管理No.		0416-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-4-13	スポーツのまちの推進

事務事業の方向性
完了

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	2020東京オリンピック・パラリンピック矢巾町交流推進実行委員会ほか関係機関
	受益者	全町民
意図	東京2020オリンピック・パラリンピックの関連事業を行うことで、スポーツや共生社会実現に向けた関心を高める。	
手段	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック聖火リレー矢巾区間の実施。 ・パラリンピック聖火フェスティバル矢巾町採火式の開催。 	

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	聖火リレー矢巾区間の実施	回	延期	1	-	-	
	聖火フェスティバルの開催	回	延期	1	-	-	
成果指標	聖火リレー沿道観覧者数	人	目標値	4000	4000	-	-
		実績値	延期	3100	-	-	
	聖火フェスティバル参加者数	人	目標値	40	40	-	-
		実績値	延期	加中止	-	-	
		目標値					
		実績値					

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	D	町民に豊かな学びを提供できる事業であるため。
成果に対する「有効性」	B	オリンピックやパラリンピックの関連行事に参加することで、スポーツや共生社会実現に向けた関心を高めることができる。
事務事業内容の「効率性」	B	県と連携を密にして効率的に事業実施するほか、ボランティアに運営協力いただき事業を進める。
実施に係る「緊急性」	A	開催日が決まっているため。

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

特になし

課題 (若しくは「問題」等)

特になし

改善改革(案)

特になし

管理No.	0416-000	名称	オリンピック聖火リレー・パラリンピック聖火フェスティバル事業	予算額 (参考)	2,032千円	必要人員	0.20/人・年	部署名	化スポーツ課 スポーツ担
-------	----------	----	--------------------------------	-------------	---------	------	----------	-----	--------------

・聖火リレーはR3.6.18の夕方に医大矢巾キャンパスから駅前のねむの木公園までを交通規制し実施。
 ・聖火フェスティバルはR3.8.13に佐々木家曲家で、小学生親子がまいぎり式で火を起し徳丹の火として採火予定だったが、コロナ禍により急遽一般参加なく事務局で実施。
 ※予算額は復興ありがとうホストタウン関連事業を含む

関係する根拠法令等 特になし

災害時優先度 特に考慮する必要はない

概要説明資料

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					復興「ありがとう」ホストタウン関連事業	文化スポーツ課	スポーツ担当	佐々木
管理No.		0417-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-7-23	フリモント町等との交流促進

事務事業の方向性
完了

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	矢巾町民、オーストリアホストタウン自治体
	受益者	住民(町内外問わず)、アスリート
意図	復興「ありがとう」ホストタウンであることやその取り組みについて発信しながら、相手国であるオーストリアとの交流を継続していく。	
手段	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等での情報発信 ・オーストリアとの交流 	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	D	町民に豊かな学びを提供できる事業であるため。
成果に対する「有効性」	B	SNSを活用した情報発信は幅広い世代に周知することができ有効的であった。
事務事業内容の「効率性」	B	国の事業であるため経費はかかっていない。専門的な部分については民間企業に委託し効率的に実施した。
実施に係る「緊急性」	A	東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関わることから、優先すべき事業である。

指標 (効果)

				2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	SNSの更新	回		1	-			
	オーストリアとの交流(オンライン含む)	回		1	6			
成果指標	SNSへのリアクション数	数	目標値	40	400	-	-	
			実績値	700	-	-	-	
	オーストリアおもてなしメニューフェアにおける提供数	食数	目標値	120	-	-	-	
			実績値	72	-	-	-	
	オーストリアとの交流(オンライン含む)	回	目標値	1	2	2	2	
			実績値	1	6			

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

オーストリアが矢巾町の復興「ありがとう」ホストタウン相手国であることを知らなかった。

課題 (若しくは「問題」等)

・周知不足
・コロナ禍による交流方法の検討

改善改革(案)

SNSの活用だけでなく、SNSを閲覧しない世代にも広く周知できるよう、紙媒体(町広報紙や新聞紙)への掲載も積極的に行う。
また、公共施設等にポスター・チラシのぼり旗等を設置し、視覚的にホストタウンをPRする。

管理No.	0417-000	名称	復興「ありがとう」ホストタウン関連事業	予算額 (参考)	2,032千円	必要人員	0.50/人・年	部署名	化スポーツ課 スポーツ担	
<p>東京2020オリンピック・パラリンピック大会を全国的に盛り上げていくことや、大会を契機とした地域活性化につなげるため、自治体がホストタウンとなり交流を進めていく。本町はホストタウンの中でも被災3県によって構成される「復興ありがとうホストタウン」として、オーストリア共和国を相手国とし2020年2月に登録となった。東京大会前～大会後にかけて、ホストタウンについての情報を発信しながら相手国との交流や関係自治体・団体との取り組みを進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃木県那須塩原市、長野県安曇野市と連携して絵本、音楽、食に関するプロジェクトを実施。 ・パラリンピック出場選手とのオンライン交流会やオンライン共同応援 ・HOSTTOWN SING ALONG PROJECTによりミュージックビデオ作成 ・オーストリアパラリンピック委員会とのオンライン交流会 <p>※予算額はオリパラ・聖火リレー等事業も含む</p>										
関係する根拠法令等						特になし		災害時優先度		特に考慮する必要はない
概要説明資料										

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					スポーツ総務事業	文化スポーツ課	スポーツ担当	佐々木
管理No.		0418-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-4-13	スポーツのまちの推進

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	各種スポーツ関係委員等
	受益者	全町民
意図	町のスポーツ振興を図るため、専門的な見地から町の施策に参画する各種委員活動や、広域でのスポーツ振興を図るための各種協議会へ加盟。	
手段	スポーツ推進審議会の開催やスポーツ推進委員の資質向上のための研修会の実施。	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	法律で委員等の配置について義務又は努力義務付けされている。
成果に対する「有効性」	B	各種委員の活動によりスポーツ振興に貢献している。
事務事業内容の「効率性」	B	専門性が求められる事業であり、適任者に委嘱することで効率的な事業を行っている。
実施に係る「緊急性」	B	町民のスポーツ活動をサポートすることで心身の健康に資するため。

指標 (効果)

				2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	町民スポーツ大会開催種目数	種目数		中止	中止			
成果指標	町民スポーツ大会参加者数	人	目標値	2000	2000	2000	2000	
			実績値	中止	中止			
		目標値						
		実績値						

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

スポーツ推進員などの出前講座は子供たちに気軽にスポーツ体験ができて助かる。

課題 (若しくは「問題」等)

スポーツ推進委員の担い手が不足しており、適任者の選任に苦慮している。

改善改革(案)

R2年4月当初は定員に対し1名欠員が生じたものの、広報誌による公募によって補充。
--

管理No.	0418-000	名称	スポーツ総務事業	予算額 (参考)	1,384千円	必要人員	0.10/人・年	部署名	化スポーツ課 スポーツ担
-------	----------	----	----------	-------------	---------	------	----------	-----	--------------

- ・スポーツ基本法に基づき施策に参画するスポーツ推進審議会委員がスポーツ施策の重要案件の協議やスポーツ振興計画策定に参画。
 - ・スポーツ基本法に基づきスポーツ推進や町の活動に指導助言を行うスポーツ推進委員が町民スポーツ大会など町の施策に協力しているほか、小学校や地域のスポーツ行事に係る出前講座を指導。指導力向上のため、定期的に研修会に参加している。
 - ・独自設置でスポーツ振興を図るための体育振興委員が主に町民スポーツ大会での調整など地域スポーツの振興に尽力いただいている。
 - ・広域協議会等に加盟し盛岡広域スポーツコミッションや体育施設協会など広域のスポーツ振興等を図るために各種会議等に参加している。
- ★指定管理事業を指定管理施設運営事業に移行したため活動指標及び成果指標一部修正

関係する根拠法令等 スポーツ基本法

災害時優先度 特に考慮する必要はない

概要説明資料

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					指定管理施設運営事業	文化スポーツ課	スポーツ担当	佐々木
管理No.				0423-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」	
2-4-13	スポーツのまちの推進

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	指定管理者
	受益者	全町民、指定管理者
意図	施設を利用する町民の多様なスポーツ活動を推進するとともに、町と一体となって各種のスポーツ大会やイベントを行うことでスポーツ振興を図る。	
手段	指定管理者の施設適正管理と各種スポーツ教室の開催経費のほか、町民総合体育館の電気料を支出。	

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	各種教室開催種目数 (指定管理事業)	種目数	8	10			
成果指標	各種教室参加充足率 (指定管理事業)	%	目標値	80	80	85	85
			実績値	65	59		
		目標値					
		実績値					

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	法律で施設整備について努力義務付けされている。
成果に対する「有効性」	B	指定管理者の各種教室など町民に好評を得ている。
事務事業内容の「効率性」	B	専門性が求められる事業であり、適任者に依頼することで効率的な事業を行っている。
実施に係る「緊急性」	B	切れ目なく継続的に町民のスポーツ活動をサポートすることで心身の健康や社会性を培うことに資する。

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

特になし

課題 (若しくは「問題」等)

特になし

改善改革(案)

特になし

管理No.	0418-000	名称	指定管理施設運営事業	予算額 (参考)	30,644千円	必要人員	0.30/人・年	部署名	化スポーツ課 スポーツ担		
施設管理等 ・利用申請等に関する業務 ・維持管理に関する業務(機械警備、清掃業務、小規模修繕ほか) ・各種スポーツ教室や大会の開催 ・R3年度利用実績。町体(2,534件51,742名)、屋外運動場(141件4,592名) ※スポーツ総務事業から指定管理施設運営事業を分割											
関係する根拠法令等 <table border="1"> <tr> <td>スポーツ基本法</td> </tr> </table>						スポーツ基本法	災害時優先度 <table border="1"> <tr> <td>特に考慮する必要はない</td> </tr> </table>		特に考慮する必要はない	概要説明資料	
スポーツ基本法											
特に考慮する必要はない											

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					スポーツのまち推進事業	文化スポーツ課	スポーツ担当	佐々木
管理No.				0419-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」	
2-4-13	スポーツのまちの推進

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	イベント開催関係者
	受益者	全町民
意図	全ての町民が気軽に運動を楽しみ、スポーツやレクリエーションを通じて交流を図ることができる環境をつくる。	
手段	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも気軽に参加することができるスポーツイベントの開催。 スポーツのまちを推進するために必要な事業等の実施。 	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	法律でスポーツ行事の実施について努力義務付けされている。
成果に対する「有効性」	B	町民の運動機会を創出するために有効な事業である。
事務事業内容の「効率性」	B	各種団体の協力を得ながら効率的に事業を企画実施した。
実施に係る「緊急性」	B	切れ目なく継続的に事業を実施することで町民の運動機会を創出することができる。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	スポーツ交流イベント開催	回	中止	1			
	障がい者スポーツ普及イベント開催	回	中止	中止			
成果指標	スポーツ交流イベント参加者数(総計指標)	人	目標値	500	600	800	1000
		実績値	中止	83			
	障がい者スポーツ普及イベント参加者数(総計指標)	人	目標値	50	200	400	500
		実績値	中止	中止			
		目標値					
		実績値					

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

特になし

課題 (若しくは「問題」等)

運動習慣のない方に運動を勧めても抵抗感があり、活動の広がり欠ける。また、スポーツをする人しない人で二分してしまう傾向を感じる。

改善改革(案)

令和元年度は秋まつりで一つのイベントとして、様々な競技(吹き矢、なぎなた、少林寺拳法など10種の体験等)を祭り内で実施したことから気軽に参加でき、抵抗感が少なかったものと思われる。今後もそういったイベントに絡めた実施や、これまで取り組みが弱かった障がい者の皆さんとともにできるスポーツイベントにも取り組んでいきたい。
--

管理No.	0419-000	名称	スポーツのまち推進事業	予算額 (参考)	676千円	必要人員	0.20/人・年	部署名	化スポーツ課 スポーツ担
-------	----------	----	-------------	-------------	-------	------	----------	-----	--------------

・スポーツ交流イベントは宮城県の成田中学校を招聘して中学校ハンドボール大会を実施。
・障がい者スポーツ普及イベントは障がい者を対象にしたイベントをコロナ禍で中止。出前講座に係る健常者の障がい者スポーツ体験も含むがコロナ禍で実施なかった。

関係する根拠法令等	スポーツ基本法	災害時優先度	特に考慮する必要はない	概要説明資料
-----------	---------	--------	-------------	--------

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					各種スポーツ補助事業	文化スポーツ課	スポーツ担当	佐々木
管理No.				0420-000	事業コード			

総合計画「施策の方向」
2-4-15 競技スポーツの推進

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	スポーツ振興団体及び各種大会出場選手
	受益者	全町民
意図	生涯スポーツ及び競技スポーツ推進のために補助金を支出	
手段	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体(矢巾町体育協会、楽々クラブ矢巾、ロードレース大会実行委員会)への運営費補助金支出。 町を代表して東北大会以上の大会に参加する個人や団体に対し経費の一部を補助。 	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	C	スポーツ振興団体を支援することで、町民の健康づくりなどの社会的ニーズに応える事業のため。
成果に対する「有効性」	B	スポーツ振興団体を支援することで有効にスポーツ振興を図れる。
事務事業内容の「効率性」	B	スポーツ振興団体を支援することで、町が直接取り組むよりも効率的に事業を実施することができる。
実施に係る「緊急性」	B	切れ目なく継続的にスポーツ振興団体を支援する必要がある。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)	
活動指標	補助金支出件数	件	2	3			
成果指標	県民体育大会参加競技数(総計指標)	競技数	目標値	20	20	20	20
			実績値	1	18		
		目標値					
		実績値					

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

選手の高齢化が進み、組織の運営が危ぶまれる。

課題 (若しくは「問題」等)

新たな人材発掘と各協会の組織強化。

改善改革(案)

ジュニア育成の強化や競技者同士の交流などによる継続的な選手育成強化の取り組み。

管理No.	0420-000	名称	各種スポーツ補助事業	予算額 (参考)	9,245千円	必要人員	0.10/人・年	部署名	化スポーツ課 スポーツ担
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興団体である矢巾町体育協会、楽々クラブ矢巾へ毎年運営費補助金を交付している。 ・矢巾町ロードレース大会を実施する際に実行委員会に対し運営費補助金を交付している(R3年度は中止)。 ・町を代表して東北大会以上の大会に参加する個人や団体に対し経費の一部を補助している。 									
関係する根拠法令等						災害時優先度		特に考慮する必要はない	
矢巾町補助金交付規則								概要説明資料	

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					総合グラウンド運営事業	文化スポーツ課	スポーツ担当	佐々木
管理No.		0421-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」
2-4-15 競技スポーツの推進

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	グラウンド利用者、グラウンド整備業者、グラウンド管理者
	受益者	グラウンド利用者
意図	野球を中心としたスポーツの普及振興を図る。	
手段	<ul style="list-style-type: none"> グラウンドの貸し出し グラウンドの整備 グラウンド及び周辺設備の環境整備 	

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	利用申請件数	件	43	60			
	草刈回数	回	5	3			
	トイレ掃除回数	回	31	30			
成果指標	グラウンド利用者数	人数	目標値	1500	1500	1500	1500
			実績値	953	1505		
	報告のあった事故件数	件	目標値				
			実績値				

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	法律で施設整備について努力義務付けされている。
成果に対する「有効性」	B	コロナ禍による外出自粛や運動不足解消に寄与した。
事務事業内容の「効率性」	B	ここ数年限られた予算内ですべき整備を実施している。環境整備についても委託することで効率的に事業実施している。
実施に係る「緊急性」	B	町民のスポーツ活動を継続的にサポートすることで心身の健康に資するため。

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

特になし

課題 (若しくは「問題」等)

特になし

改善改革(案)

特になし

管理No.	0421-000	名称	総合グラウンド運営事業	予算額 (参考)	2,675千円	必要人員	0.15/人・年	部署名	化スポーツ課 スポーツ担
<p>町総合グラウンド利用者に安全・快適に施設利用していただくため、定期的に環境整備等を行う。 トイレ清掃や草刈については委託し効率的に実施している。</p> <p>貸し出し手続き(文スポ担当)。冬季間閉鎖 <ul style="list-style-type: none"> ・平日に電話予約があり、ほとんどが土日祝日利用。 ・利用時は主に日直が対応し申請書を受け納付書とグラウンドの鍵を渡す。 </p> <p>令和3年度にトイレの工事をを行い簡易水洗化</p>									
関係する根拠法令等 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)						災害時優先度 特に考慮する必要はない		概要説明資料	

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					スポーツ関連施設管理事業	文化スポーツ課	スポーツ担当	佐々木
管理No.		1384-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-4-13	スポーツのまちの推進

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	施設借用者
	受益者	全町民、施設借用者
意図	町所有遊休施設等(旧アイワ体育館及び旧南昌グリーハイツ)を有効活用するとともに、スポーツ関連事業者に貸し付けることで町民スポーツ等の振興を図る。	
手段	<ul style="list-style-type: none"> 施設の改修工事を実施しスポーツ関連事業者に貸し付ける。 貸付後の施設を適正に管理する。 	

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	施設貸付件数	件	2	2			
成果指標	施設貸付収入	千円	目標値	825	6060	6060	6060
			実績値	825	3300		
		目標値					
		実績値					

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	B	町所有遊休施設等の有効活用のため。
成果に対する「有効性」	B	スポーツ関連事業者が町内で活動することによりスポーツによる賑わいを創出できている。
事務事業内容の「効率性」	B	町と施設借用者が役割分担して施設の管理を行い効率的に運用している。
実施に係る「緊急性」	B	継続して遊休施設の活用を図る必要がある。

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

岩手ビッグブルズから冷暖房設置の要望あり

課題 (若しくは「問題」等)

旧アイワ体育館の屋根などの経年劣化に伴う改修が将来的に見込まれる。

改善改革(案)

施設の現状や今後の利用に係る改修内容等について利用者と協議する必要がある。

管理No.	0422-000	名称	スポーツ関連施設管理事業	予算額 (参考)	5,955千円	必要人員	0.20/人・年	部署名	化スポーツ課 スポーツ担	
<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度内に大規模改修工事を実施(旧アイワ体育館及び旧南昌グリーハイツ)。 ・旧アイワ体育館を(株)岩手ビッグブルズの練習専用体育館として、旧南昌グリーンハイツを(株)カヴァーロのアスレチックパーク施設として貸付。 ・施設所有者として施設の維持管理を行い、適切に貸し付ける。 										
関係する根拠法令等						特になし		災害時優先度		特に考慮する必要はない
概要説明資料										

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					体育施設維持管理事業	文化スポーツ課	スポーツ担当	佐々木
管理No.		0422-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-4-13	スポーツのまちの推進

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	指定管理者、修繕事業者等
	受益者	施設利用者
意図	町民がスポーツレクリエーションを行うための拠点として町民総合体育館及び屋外運動場を維持管理していく	
手段	町民総合体育館とかつこうグラウンドの施設修繕のほか設備の更新	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	A	法律で施設整備について努力義務付けされている。
成果に対する「有効性」	B	状況に応じ必要な修繕を行っている。
事務事業内容の「効率性」	B	軽微修繕(30万円未満)は指定管理者が、その他は町で対応するよう役割分担し効率的に行っている。
実施に係る「緊急性」	A	状況に応じ事故がないよう必要な修繕を早期に行っている。

指標 (効果)

		2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	町発注による事業件数	件	2	2		
成果指標	施設瑕疵による事故件数	件	目標値			
			実績値			
		目標値				
		実績値				

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

・町民総合体育館にエアコンがあるとよい

課題 (若しくは「問題」等)

・空調設備の設置

改善改革(案)

・全館導入は導入経費が多額で対応困難なことから、トレーニング室や柔剣道場など部分的に導入し、特に柔剣道場は汎用的な利用も行い利用率を高める。また、指定管理者が状況に応じて熱中症指数計を使用し利用者に注意喚起を呼びかけている。
--

管理No.	0422-000	名称	体育施設維持管理事業	予算額 (参考)	8,965千円	必要人員	0.10/人・年	部署名	化スポーツ課 スポーツ担	
R3町発注による事業 ・移動式バスケット更新事業 ・火災報知器交換工事 ※活動指標を一部修正										
関係する根拠法令等						スポーツ基本法		災害時優先度		特に考慮する必要はない
概要説明資料										

判別	款	項	目	区分	事務事業名称	担当課	担当G	担当者名
					町民運動会運営事業	文化スポーツ課	スポーツ担当	佐々木
管理No.		0424-000		事業コード				

総合計画「施策の方向」	
2-4-13	スポーツのまちの推進

事務事業の方向性
維持

【(旧) Change シート】

事務事業概要

対象	対象者	各行政区代表
	受益者	全町民
意図	生涯スポーツの振興並びにコミュニティの交流を図ることで、心身の健康や顔の見える地域交流を行う。	
手段	町民運動会の開催	

性質別 評価結果

性質	結果	説明
町が実施する「必要性」	C	町民の健康づくりなどの社会的ニーズに応える事業のため。
成果に対する「有効性」	E	未実施につき評価無
事務事業内容の「効率性」	E	未実施につき評価無
実施に係る「緊急性」	E	未実施につき評価無

指標 (効果)

			2年度	3年度	4年度	5年度	(6年度)
活動指標	町民運動会開催回数	回数	中止	中止			
成果指標	参加チーム数	数	目標値	37	37	37	37
			実績値	中止	中止		
		目標値					
		実績値					

住民等からの意見要望 (「外部の意見」など)

役員や班長の負担が大きいため希望者が任意に参加できる方式としてほしい。

課題 (若しくは「問題」等)

特になし

改善改革(案)

特になし

管理No.	0424-000	名称	町民運動会運営事業	予算額 (参考)		必要人員	0.15/人・年	部署名	化スポーツ課 スポーツ担	
<p>全行政区が参加する町民運動会で、令和2年度に総務課から文化スポーツ課に移管 ※令和2・3年度はコロナ禍で中止</p>										
<th>関係する根拠法令等</th> <td colspan="4">特になし</td>						関係する根拠法令等	特になし			
						災害時優先度	特に考慮する必要はない		概要説明資料	